

平成 26 年度

宮 崎 県 立 図 書 館 要 覧



目 次

【第1部】

1	運営方針	2
2	目 標	3
3	平成26年度重点推進事項	6
4	組 織	7
5	当初予算	8

【第2部】

1	資料概要	10
(1)	配架別・分類別資料数	10
(2)	資料購入の推移	11
(3)	資料整備状況	11
①	資料受入	11
②	資料受入区分別・分類別資料数	11
(4)	保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	11
2	事業実績	
(1)	館内利用事業	12
①	貸出利用総括	12
②	貸出利用地区別内訳	13
③	館内利用状況	14
④	入館者数・登録者数・貸出冊数	14
⑤	分類別図書貸出冊数	15
⑥	A Vコーナー資料の利用状況	15
⑦	読書振興室利用状況	16
⑧	情報相談（レファレンス）	16
⑨	YA（ヤングアダルト）サービス	16
⑩	児童サービス	17
⑪	ビジネス支援サービスの実績	17
⑫	健康情報サービス	18
⑬	パソコン・データベースコーナーの利用状況	18
⑭	複写利用状況	18
(2)	館外利用事業	19
①	巡回文庫〈市町村支援事業〉〈大量貸出支援事業〉〈学校支援事業〉	19
②	学校支援「セット文庫」	20
③	親子の絆を深める子育て読書推進支援事業	21
④	団体文庫	22
⑤	児童教育施設等	22
(3)	図書館ネットワーク事業	23
(4)	視聴覚事業	24
①	視聴覚資料等貸出利用状況	24

② 視聴覚行事	24
(5) 関係機関と連動した情報発信事業	27
① 県政の重点施策情報発信事業	27
② 主催事業	29
③ 共催事業	29
(6) 文化活動事業	30
① 第55回「こどもの読書週間」記念行事	30
② 第67回「読書週間」関連事業	30
③ 特別展等	31
④ 郷土史料等学習活動 〈宮崎県文化講座〉 〈古文書解読講座〉	32
⑤ 次世代につなぐ「みやざき言の葉」継承事業	34
(7) 郷土資料調査研究事業	36
(8) ホームページ活用事業	36
(9) 体験学習・施設見学	37
(10) 「かば先生文庫」	37
3 各種協議会等	
(1) 県立図書館協議会	38
① 委員	38
② 前年度の開催状況	38
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	39
① 役員名簿	39
② 事業実績	39
③ 表彰者名簿	40
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	41
① 事業実績	41
② 役員及び加入団体	41
(4) 宮崎県立図書館資料推薦委員	43

【参考資料】

1 沿革	
(1) 県立図書館のあゆみ	45
(2) 歴代館長名	54
2 県立図書館条例・規則	
(1) 県立図書館条例	55
(2) 県立図書館管理規則	55
(3) 県立図書館協議会運営規則	60
3 施設概況	61
4 利用案内	62
5 宮崎県内市町村立図書館一覧	63

【 第 1 部 】



「みやぎの港」特別企画展
～港を知ろう、ビーチに行こう～
(県政の重点施策情報発信事業)

県立図書館では、県民の皆さんに県の重点施策や地域の課題等を迅速かつ正確に周知させるとともに、個人や地域の課題等の解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的に「県政の重点施策情報発信事業」を実施しています。

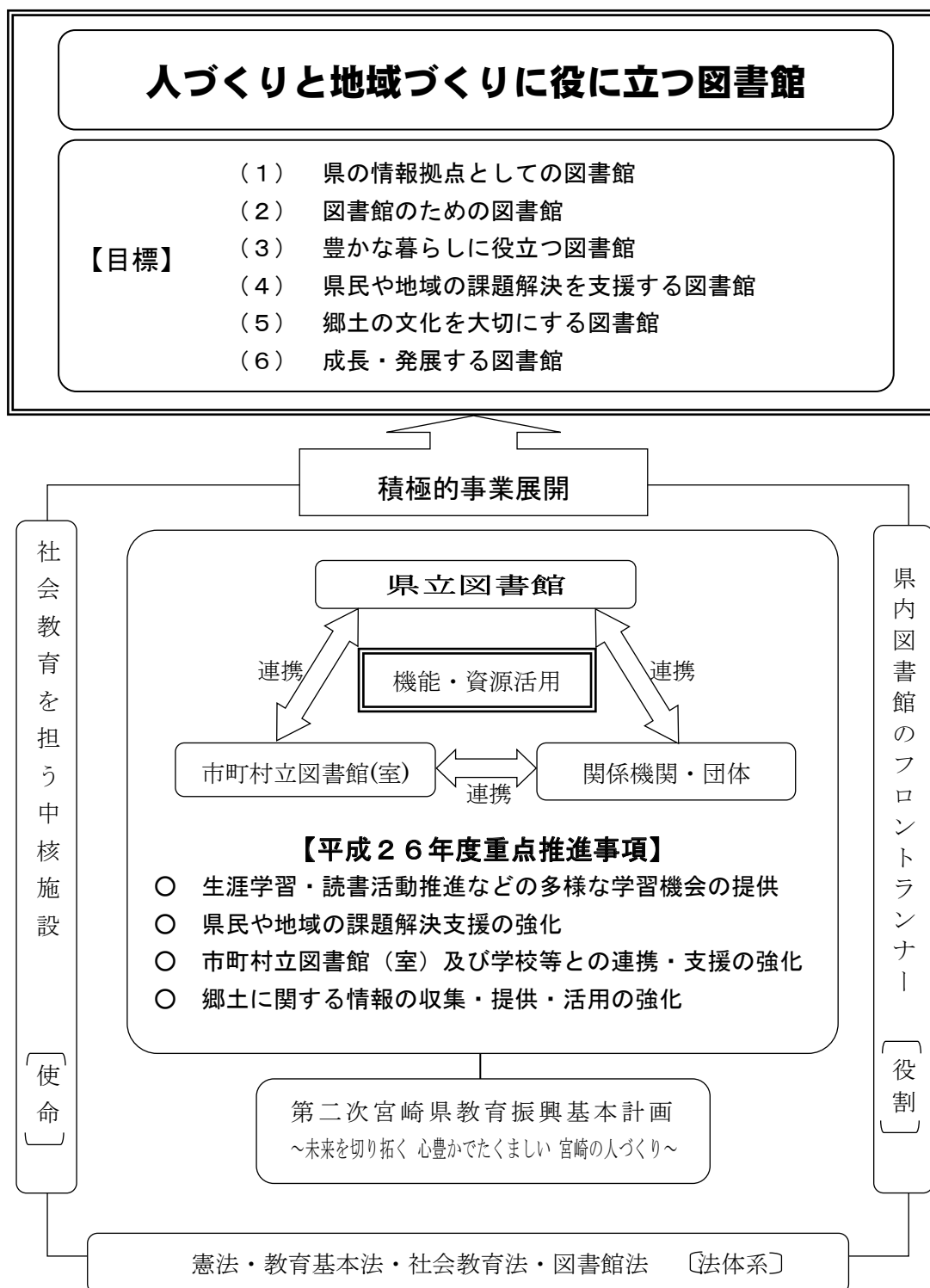
平成25年度は、県や国及び関係機関と連携して、34の事業に関する企画展やセミナー、相談会等を実施しました。

平成26年度宮崎県立図書館運営方針等について

1 運営方針

宮崎県立図書館は、図書館法並びに本県教育振興基本計画等に基づき、社会教育を担う中核施設としての使命を踏まえ、県民のため「人づくりと地域づくりに役に立つ図書館」をめざして、次の目標を掲げます。

そして、この目標に向けて市町村立図書館・室や関係機関・団体等と連携を図り、県内図書館のフロントランナーとして、図書館の機能と資源を活用しながら積極的に事業を展開します。



2 目 標

(1) 県の情報拠点としての図書館

県民の情報センターとして、過去・現在・未来にわたる県民や社会のニーズに応じた積極的な情報収集と情報発信を行います。

- 県民の生涯学習の推進のため、県立図書館と市町村立図書館のネットワークを通じて県内全域での貸出しサービスに努めます。
- より多くの県民が来館し、文化・歴史等に親しめるよう、多様な資料の整備に努めるほか、機能の充実とサービスの向上に努めます。
- 県民の必要とする情報や資料を収集・整理して多様な情報発信を行います。
- 図書館のハイブリッド^(注1)化を進め、レファレンスサービス^(注2)の充実とともに利用者の利便性の向上に努めます。
- 情報リテラシー^(注3)教育に努め、インターネット等を活用し利用者が求める情報への的確な案内を行います。

注1：印刷媒体とインターネット等による電子媒体を組み合わせた利用方法。

注2：利用者の調査や研究に必要な資料及び情報を提供するサービス。

注3：さまざまな情報源の中から必要な情報を検索し、検索した情報を正しく評価し、活用する能力。

(2) 図書館のための図書館

県立図書館として、県民の「誰もが・いつでも・どこでも」図書館サービスの恩恵を享受できるよう、県全域で均衡ある読書環境の整備を図るとともに、県内図書館のフロントランナーとして先駆的事業の展開に努めます。

- 市町村立図書館（室）や学校図書館を支援するとともに、国立国会図書館や他県立の図書館等と連携した資料の相互の貸借など読書環境の整備を図ります。
- 市町村立図書館等に対する地域に根ざした先進的サービスモデルの提供に努めます。
- 県内図書館のパイプ役として市町村立図書館等への積極的な情報提供を行うとともに、情報交換・交流の場を提供します。
- 県内図書館のサービスの向上のため、図書館等職員の資質向上・技術習得につながる研修を実施します。

(3) 豊かな暮らしに役立つ図書館

県民が生涯にわたって、新たな発見や心豊かで快適な生活をおくることができるよう、必要な資料や情報及び多様な学習機会を提供し、文化的情報発信にも努めます。

- 県民が豊かで安全・安心な生活をおくするため、健康や暮らしに関する資料・情報を関係機関とも連携して、積極的に提供します。
- 「みどりの図書館」として、「自然と共生した環境にやさしい社会」づくりに取り組む県民の環境学習を支援するため、宮崎県環境情報センター等の関係機関と連動した資料の提供や情報の発信を行うとともに、各種の学習機会の提供を行います。
- 県民の豊かな感性、創造力、表現力などを育み、生活をより豊かにするため、視聴覚事業等を行います。
- シニア世代が社会でいきいきと活躍し、生活をするための情報と学習機会を提供します。
- 子どもの読書活動の支援・推進のため、子育て支援や読み聞かせ実施、講演会等開催に努めます。
- 宮崎の魅力を伝える文化的情報を発信するため講座等の開催に努めます。

(4) 県民や地域の課題解決を支援する図書館

県民や地域の課題解決に役立ち、宮崎の発展を支える情報拠点として、明日の宮崎づくりを進める県民の学習を支援します。

- 地域の課題解決のため、県行政機関等へのレファレンスサービスや県政の重点施策と連動した情報発信事業等の政策支援を行います。
- 起業・就農など力強い産業の営みを支援するため、大学や民間企業を含む関係機関と連携し、レフェラルサービス^(注4)の充実を図り、ビジネス支援サービスなどの社会人支援を行います。
- 県民が自ら学ぶことにより、それぞれの課題の解決に生かすことができる実践的な学習活動を支援します。
- 児童サービスやヤングアダルト^(注5)サービスの充実を図るとともに、学校支援を通して、子どもの読書活動を推進し、児童・生徒の健全な育成と自立を支援します。
- 安心して子どもを産み育てる家庭を支援するために、子育てに関する資料・情報の提供を行います。

注4：他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービス。

注5：中学生、高校生の年代

(5) 郷土の文化を大切にする図書館

『宮崎の“昔と今”を学ぶ』をテーマに、郷土に関する情報拠点として、宮崎県の文化を大切に保存・継承するとともに、新たな文化の創出に取り組みます。

- 過去及び現在の郷土資料を積極的に収集・発信して、個性と魅力ある地域づくりを支援します。
- 郷土に関わる貴重な文化遺産を保存・継承しながら資料情報を広く発信するなど、積極的な活用を図ります。
- 大学や民間の“人”の力を積極的に活用し、県民が郷土の文化に親しむ機会を提供することにより、文化を保存し育てる地域づくりや人づくりを支援します。
- 市町村立図書館（室）や行政機関・学校等とのネットワークを活かした郷土情報の収集・発信・提供を行います。
- 記紀編さん1300年記念事業を実施し、県民の関心を高め理解を深めるため、関係情報を広く発信し情報提供に努めるとともに、本県の価値ある言語文化を次世代に語り継ぐ活動を推進します。

(6) 成長・発展する図書館

時代や社会の変化に対応して、迅速かつ的確な情報提供を行うため、利用者のニーズに配慮した図書館サービスを提供するとともに、県民とともに成長・発展する図書館をめざします。

- 県民の図書館への需要等に関する事項を的確に把握し、県民の意思を図書館運営に反映するよう努めます。
- 図書館サービスの向上をめざし、職員のスキルアップのための研修や他館の先進事例の積極的な情報収集を行います。
- 常に図書館サービスの検証と見直しを行うとともに、効率的で時代に対応した業務体制の充実と機能の強化を図ります。
- ネットワーク環境下における個人情報保護と情報セキュリティ対策の充実に努めます。

3 平成26年度重点推進事項

○ 生涯学習・読書活動推進などの多様な学習機会の提供

県民の生涯学習としての自主的な学習を支援するため、多様な資料の整備に努めるほか、関係機関と連携して健康や環境、ビジネス等に関する情報の提供を行ったり、文化講座など各世代のニーズに沿った各種講座や展示を実施します。

また、子どもの読書活動を推進する活動や講座の実施に努めるなど多様な学習機会を積極的に提供します。

○ 県民や地域の課題解決支援の強化

県民や地域の課題解決を積極的に支援するため、図書館の持つ機能と資源を有効に活用し、県行政機関等へのレファレンスサービスや県政の重点施策情報発信事業等の政策支援を行うほか、大学や民間企業を含む関係機関と連携し、新たな情報を活用したビジネス支援サービスなどの社会人のための支援を行います。

また、就労支援や子育て支援、介護など社会情勢の変化に伴う喫緊の課題を踏まえ、関係機関と連携しながら、その解決に役立つ資料の充実・活用を図ります。

○ 市町村立図書館（室）及び学校等との連携・支援の強化

県立図書館と市町村立図書館（室）相互の連携を強化するとともに、市町村立図書館（室）の図書館サービスの向上を図るために、市町村立図書館（室）が行う読み聞かせ団体の育成や、市町村立図書館（室）の職員研修を積極的に支援します。

また、移動図書館車「やまびこ」のへき地学校支援や特別支援学校の巡回による学校支援に努めるとともに学校図書館への支援にも取り組みます。

○ 郷土に関する情報の収集・提供・活用の強化

『宮崎の“昔と今”を学ぶ』をテーマとして、市町村立図書館等と役割分担をしながら、郷土資料の積極的な収集・整理・保存に努めます。

また、平成24年度からの記紀編さん1300年記念事業の展開に努め、関係機関と連携した郷土情報の発信事業、貴重資料等のデジタルアーカイブの充実などを通じて、地域の情報拠点としての役割を強化します。

4 組 織

(1) 職員の現員調

区分	館長	副館長	課長	主幹	副主幹	主査	主任主事	主事	社会教育主事
現員 25名	1	1	2	4	2	1 2	1	0	2

(2) 組織及び分掌事務

名誉館長 伊藤 一彦 館長 内戸保 博秋 副館長 野邊 文博	総務・企画課 坂本 豊人	総務担当 日高 聖子 富田 智子 井上 和哉 非常勤技能労務員 1 名 2 2 条職員 1 名	・連絡調整、図書館協議会 ・予算編成・執行、物品検査、歳入 ・施設維持管理、施設利用(研修ホール等)、公用車管理 ・庶務、臨時職員等業務管理、勤務関係の整理 ・調査統計(一般)、館内行事予定(日々行事等)
		企画担当 藤井 一利 村社 由啓 佐藤 寿哉	・施策・事業の総合的調整 ・図書館広報、評価 ・図書館情報システム、ホームページ、情報セキュリティ等の運営管理 ・連動事業、利用講座、相談事業、環境情報センターとの連携 ・職員研修、図書館学習(体験実習等) ・施設利用(ギャラリー等)
		普及支援担当 石倉 義紀 黒木 朋代 吉永 登志孝 金澤 由紀子 2 2 条職員 1 名	・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・移動図書館車(やまびこ)、BM書庫管理・活用 ・市町村貸出(マイライン制度)運営管理 ・視聴覚事業、AVコーナーの管理 ・読書団体振興、施設利用(読書振興室) ・「みやざきの言の葉」事業
	情報提供課 上谷 政隆	情報総括担当 橘菌 文隆 中島 由光 山下 久見子 非常勤奉仕相談員 2 名 2 2 条職員 1 名	・資料の総合管理(収集・保存・除籍・製本) ・資料の収集方針、管理計画 ・購入・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入 ・資料費・装備用消耗品の管理 ・資料推薦委員、特別整理期間
		郷土情報担当 初木 郁朗 安藤 正純 非常勤郷土資料調査員 2 名 非常勤事務補助員 1 名	・郷土資料の収集・保存・活用・データベース化 ・郷土情報の参考相談 ・特別展示室、貴重書庫、地方史研究室運営管理 ・地方史連絡協議会 ・文化講座・古文書講座、展示会
		情報提供担当 中馬 一房 作元 礼子 原田 佳奈子 下園 名奈美 甲斐 夕貴子 上米良 綾子 非常勤奉仕相談員 11 名	・閲覧室・児童図書室の運営管理 ・レファレンスサービス、相互貸借 ・健康情報、学校支援、行政資料、法律情報 ・ビジネス支援、市町村・庁内レファレンス ・書庫・児童文化研究室、わかばコーナーの運営 ・複写サービス、各種講座、見学等利用者支援 ・資料の返却督促、弁償、推薦、予約 ・利用データの統計・管理

5 当初予算

(歳入)

科 目		説 明	
財産収入		1,869 千円	
	財産運用収入	1,869	
	財産貸付収入	1,869	
	公募型財産貸付料	1,869	
諸 収 入		1,069 千円	
	雑 入	1,069	
	雑 入	1,069	
	雑 入	1,069	マイクロ複写 150,000円 電 子 複 写 645,000円 電気・水道使用料 274,000円

(歳出)

事業名	予算額 千円	事 項 名 千円	説 明
図書館費	73,899	1 管理運営費 73,642	庁舎の維持管理に要する経費
		2 図書館協議会 257	図書館協議会の運営に要する経費 (委員10人・年2回)
奉仕活動推進費	84,762	1 資料整備費 28,310	図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費
		2 館内奉仕活動費 48,753	資料の提供、参考相談事務及びコンピュータ運用に要する経費
		3 文化活動推進費 451	文化講座(年3回)、古文書講座(年5回)開催に要する経費
		4 読書普及推進費 1,695	移動図書館に関する事業(町村支援及び学校支援、県内16コース)、団体文庫の育成、読書普及活動の推進に要する経費
		5 AV活動推進費 1,403	AV機器及びAV資料の管理、映写会、コンサート、AV資料貸出等に要する経費
		6 図書館ネットワーク推進事業 855	図書館ネットワーク推進に要する経費
		7 インターネットホームページ事業 346	インターネットホームページによる資料提供に要する経費
		8 みどりの図書館づくり推進事業 1,248	自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費
		9 図書館情報システムセキュリティ強化対策事業 764	外部からの不正侵入等に対する情報セキュリティ対策及び館内の危機管理対策に要する経費
		10 次世代につなぐ「みやざきの言の葉」継承事業 937	宮崎の神話・伝承などを継承していくための、講演会、語り部養成講座、子どものための言の葉講座など
郷土資料調査研究事業推進費	6,011	1 史料刊行費 3,891	史料・研究紀要の刊行に要する経費
		2 貴重資料の修復・保存 2,120	貴重資料の修復・保存に要する経費
合 計	164,672		

【 第 2 部 】



みどりの図書館フェスタ

読書の普及と出版文化の向上と発展のため、毎年、文化の日を中心に10月27日（文字・活字文化の日）から11月9日の期間が「秋の読書週間」とされています。

この期間中に、読書の大切さを広く県民に普及・啓発し、県民文化の向上を図るため、本の読み聞かせ、地域に伝わる伝統芸能の紹介、しおりづくりなどを内容とする「みどりの図書館フェスタ」を毎年度実施しています。

1 資料概要

図書館資料の整備にあたっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

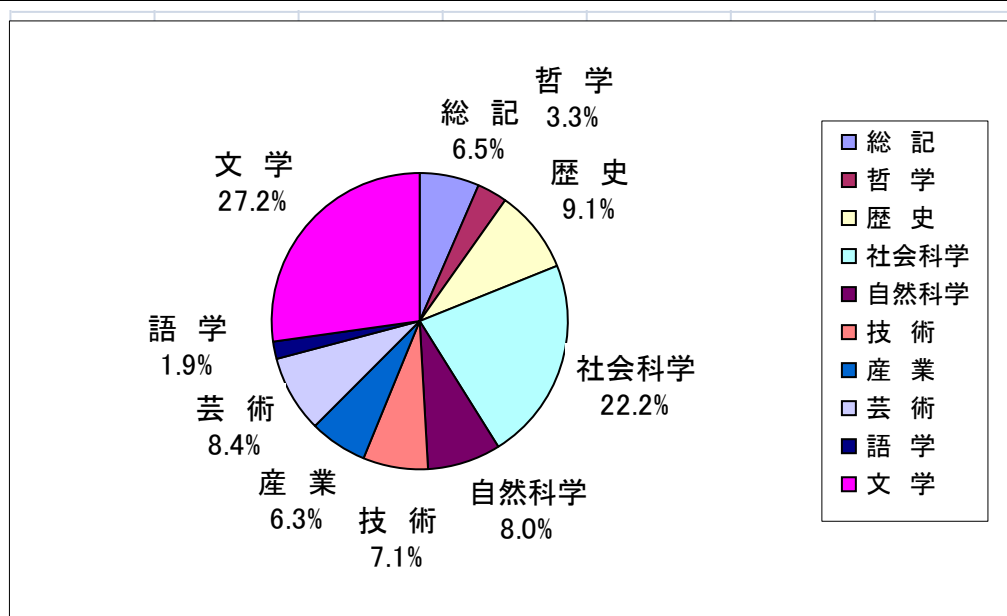
特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

そのような中で、これらの蔵書の中には置県１００年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸後期の城ヶ先俳壇の俳諧資料など約１２，０００点も含まれており、また貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶠南文庫」などの古文書約２，０００点も保存している。

(１) 配架別・分類別資料数 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

単位 (冊・点)

区 分	閲覧室	児 童 図書室	書 庫	BM書庫	視聴覚 資 料	その他	合 計	割合(%)
0 総 記	10,683	900	33,359	834	372	337	46,485	6.5
1 哲 学	4,742	223	17,632	766	110	3	23,476	3.3
2 歴 史	13,097	1,427	47,961	1,758	909	263	65,415	9.1
3 社会科学	24,290	2,314	125,170	4,183	2,208	304	158,469	22.2
4 自然科学	13,065	3,618	35,409	4,142	1,094	10	57,338	8.0
5 技 術	12,135	1,425	33,209	3,232	757	20	50,778	7.1
6 産 業	11,294	818	31,148	1,212	516	9	44,997	6.3
7 芸 術	10,238	2,877	35,762	3,867	7,364	19	60,127	8.4
8 語 学	3,078	538	8,876	810	155	52	13,509	1.9
9 文 学	24,832	16,682	121,808	30,901	287	11	194,521	27.2
計	127,454	30,822	490,334	51,705	13,772	1,028	715,115	100.0



(2) 資料購入の推移

単位(購入数:冊、金額:千円)

区分	2 1		2 2		2 3		2 4		2 5	
	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額
図 書	10,889	38,224	9,370	36,961	12,616	40,006	10,768	36,284	9,677	33,621
逐次刊行物	4,584	6,874	4,479	6,704	4,591	6,589	4,447	6,230	4,112	6,358
A V 資 料	85	1,403	49	745	137	2,296	146	1,195	69	1,197
計	15,558	46,501	13,898	44,410	17,344	48,891	15,361	43,709	13,858	41,176

※22・23年度図書購入費には国の交付金を一部含む。

(3) 資料整備状況 (平成25年度)

① 資料受入

単位(冊)

区 分	資料数	備 考
図 書 (A)	13,402	
逐次刊行物 (B)	5,344	新聞 45 種
		雑誌 508 種
A V 資 料 (C)	220	
合 計 (A + B + C)	18,966	

② 資料受入区分別・分類別資料数

単位(冊)

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総 記	1,059	324	32			3	6		2	1,426
1 哲 学	361	37					7			405
2 歴 史	823	382				4	12			1,221
3 社会科学	2,915	1,686	65				17		7	4,690
4 自然科学	1,442	354					12		1	1,809
5 技 術	1,404	306					28	1	5	1,744
6 産 業	1,016	533					21		4	1,574
7 芸 術	1,464	258	73				34		9	1,838
8 語 学	246	17					3		2	268
9 文 学	3,128	767	24				71		1	3,991
計	13,858	4,664	194			7	211	1	31	18,966

(4) 保存資料(マイクロフィルム)の所蔵状況(平成26年3月31日現在)

単位(点)

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	448
佐土原嶋津家日記	222	宮崎日日新聞	897
佐土原嶋津家日記江戸日記	143	宮崎新報 他	305
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	3,939

2 事業実績

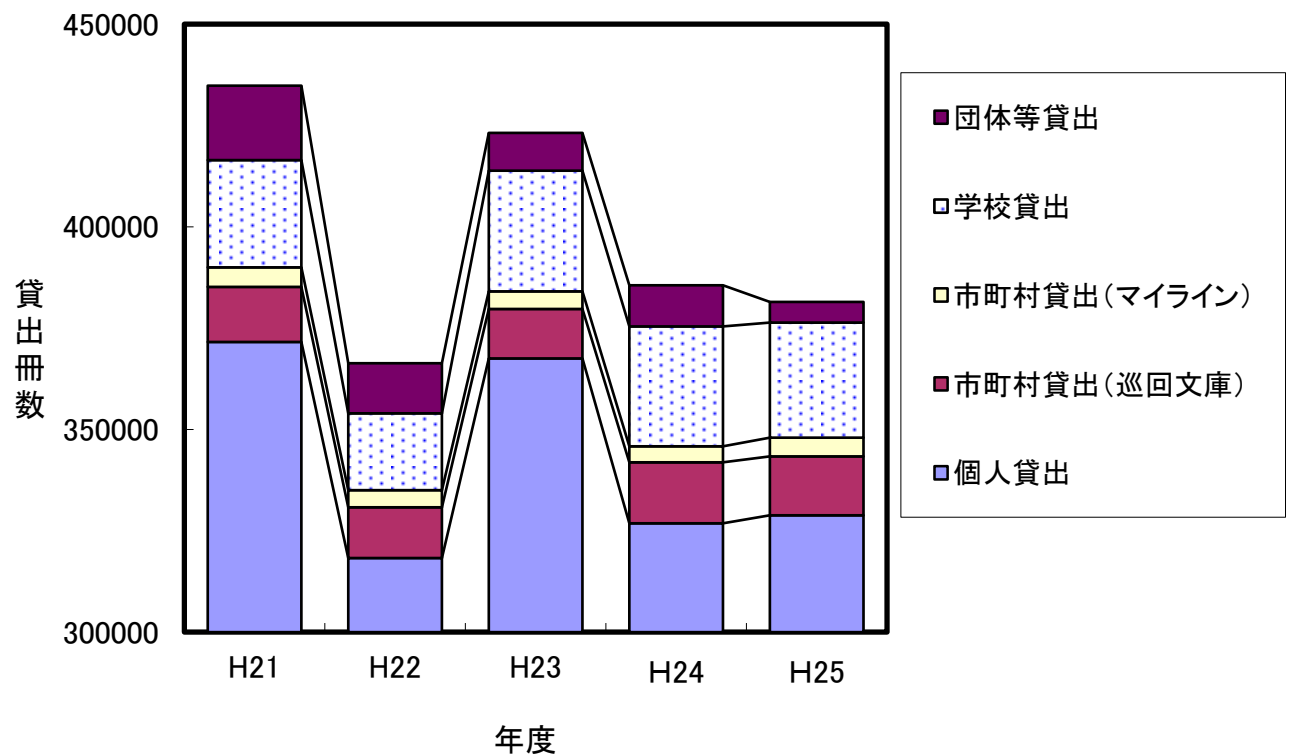
(1) 館内利用事業

① 貸出利用総括

年 度		2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
区 分						
開 館 日 数 (日)		301	270	302	289	300
入 館 者 数 (人)		566,626	491,686	533,907	506,521	515,391
(1 開 館 日 あ た り)		1,882	1,821	1,768	1,753	1,718
登 録 者 数 (人)		7,506	9,121	9,109	8,263	7,794
累 計 登 録 者		206,185	215,306	244,415	232,678	240,472
(1 開 館 日 あ た り)		25	34	30	29	26
貸 出 冊 数 (冊)	個 人 貸 出	371,591	318,266	367,537	326,835	328,847
	(1 開 館 日 あ た り)	1,235	1,179	1,217	1,131	1,096
	市町村貸出 (巡回文庫)	13,601	12,522	12,215	15,061	14,533
	市町村貸出 (マイライン)	4,818	4,235	4,326	3,973	4,609
	学 校 貸 出	26,446	18,953	29,793	29,576	28,384
	団 体 貸 出	18,366	12,377	7,557	7,682	5,102
	児 童 教 育 施 設 貸 出			1,737	2,446	2,959
	視 聴 覚 資 料 団 体 貸 出	346	263	269	168	104
	合 計	434,822	366,353	423,165	385,573	384,434

※ 貸出冊数合計には、視聴覚資料団体貸出は含まない。

※ 平成22年度における開館日数の減については、口蹄疫拡大防止のため、平成22年6月12日～平成22年7月26日の間、休館したことによる。



單位 (冊)

- ※ 巡回文庫には、学校貸出を含む。
- ※ 団体等貸出には、児童教育施設貸出を含む。
- ※ 視聴覚資料団体貸出は含まない。

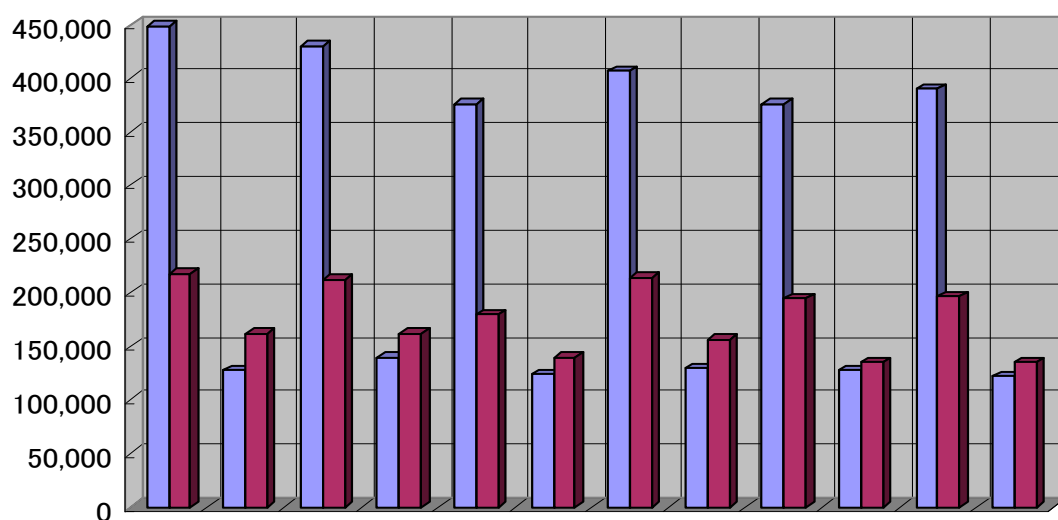
Category	Percentage
宮崎市	81.4%
日向市・門川町・美郷町・諸塚村・椎葉村	5.2%
西臼杵郡	4.1%
東諸県郡	1.5%
都城市・三股町	1.3%
日南市・串間市	1.1%
小林市・えびの市・西諸県郡	1.1%
その他	0.6%
延岡市	0.5%
西臼杵郡	3.2%

③ 館内利用状況

単位 (人・冊)

年度 区分	20		21		22		23		24		25	
	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数
閲覧室	447,426	217,415	428,323	210,732	374,226	179,508	405,465	213,081	375,083	193,187	389,375	195,794
児童図書室	126,419	160,055	138,261	160,859	123,101	138,758	128,547	154,456	125,536	133,648	120,824	133,053
計	573,845	377,470	566,584	371,591	497,327	318,266	534,012	367,537	500,619	326,835	510,199	328,847
一 日 平 均	1,906	1,254	1,882	1,235	1,841	1,178	1,768	1,217	1,732	1,131	1,701	1,096

■ 延入室者数 ■ 貸出冊数



閲覧室	児童図書室	閲覧室	児童図書室	閲覧室	児童図書室	閲覧室	児童図書室	閲覧室	児童図書室	閲覧室	児童図書室
20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度						

④ 入館者数, 登録者数, 貸出冊数(平成 25.4.1～平成 26.3.31 開館日数 300 日)

単位(人・冊)

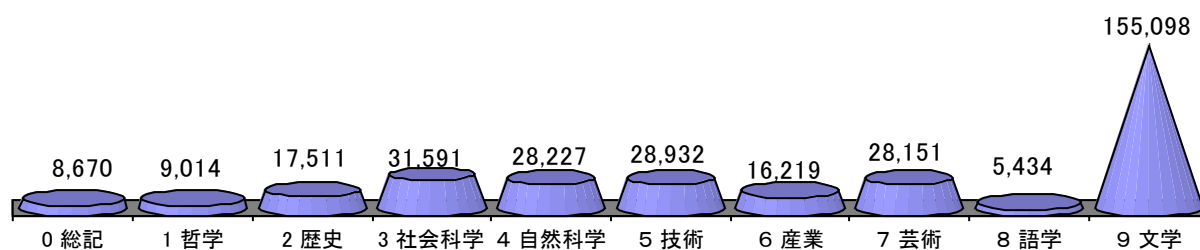
区 分		入館者	登録者	貸出冊数	平均入館者	平均登録者	平均貸出冊数
利用者	0 歳～ 6 歳		681	32,312		2	108
	7 歳～12 歳		740	43,877		2	146
	13 歳～15 歳		203	5,157		1	17
	16 歳～18 歳		328	4,588		1	15
	19 歳～22 歳		541	7,156		2	24
	23 歳～		5,301	235,757		18	786
計		515,391	7,794	328,847	1,718	26	1,096
累 計 (昭和 63 年度以降)		14,825,861	240,472	10,338,090			

⑤ 分類別図書貸出冊数(平成 25.4.1～平成 26.3.31 開館日数 300 日)

単位 (冊)

分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	1日平均
0 総記	7,554	1,116	8,670	29	6 産業	14,183	2,036	16,219	54
1 哲学	8,209	805	9,014	30	7 芸術	18,431	9,720	28,151	94
2 歴史	14,712	2,799	17,511	58	8 語学	4,056	1,378	5,434	18
3 社会科学	26,284	5,307	31,591	105	9 文学	60,049	95,049	155,098	517
4 自然科学	18,801	9,426	28,227	94					
5 技術	23,515	5,417	28,932	96	合計	195,798	133,049	328,847	1,096

分類別貸出冊数 (総数 328,847 冊)



⑥ AVコーナー資料の利用状況

〈ビデオソフト〉

単位 (本)

年度 区分	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
利用本数	5,489	4,021	3,952	4,650	5,191	5,419
1日平均	19	13	15	15	18	18

⑦ 読書振興室利用状況（読書団体の利用数）

単位（件・人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件 数	5	7	6	10	6	10	14	7	10	9	6	7	97
人 数	45	70	59	104	54	102	137	62	84	67	59	64	907

⑧ 情報相談（レファレンス）

利用者からの相談を受けて、蔵書資料を紹介したり情報を提供して調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（25 年度）

単位（件）

区 分	対 面	電 話	F A X	Eメール	文 書	計
件 数	7,277	1,220	59	216	9	8,781

〈相互貸借件数〉

単位（冊）

区分 年度	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
2 5	23	1,003	265	1,291
2 4	22	684	193	899
2 3	24	777	128	929

⑨ Y A（ヤングアダルト）サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成 17 年度より青少年わかばコーナーを設置している。平成 20 年度には書架を増設し資料の充実を図った。（図書約 4,000 冊）

⑩ 児童サービス

ア 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

- ・図書館職員による読み聞かせ
毎週火曜日：午後２時～午後２時３０分（祝休日はなし）
- ・ボランティア団体による読み聞かせ
毎週水曜日：午後３時～午後３時３０分（祝休日はなし）
毎週土曜日：午後３時～午後４時（祝休日はなし）

〈読み聞かせ利用者数〉（25 年度）

単位（人）

曜 日	内 訳		計
火曜日	こども	369	664
	大人	295	
水曜日	こども	448	812
	大人	364	
土曜日	こども	902	1,461
	大人	559	
計	こども	1,719	2,937
	大人	1,218	

イ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児など子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約 360 冊）

また、平成 24 年度より、毎月第 1 火曜日、読み聞かせに参加する保護者を対象に、子育てに関する悩みの共有、課題の解決、孤立化の防止のため、保護者同士のグループ相談や助産師による個別相談会（子育て相談おはなし会）を行っている。

- ・子育て相談おはなし会相談件数（25 年度） 延べ 69 件

⑪ ビジネス支援サービスの実績

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナーを設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌等を展示しているほか、毎週木曜日と毎月第三日曜日に宮崎県産業振興機構派遣のコーディネーターによるビジネス相談会を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

また、宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で経営支援、創業支援等の分野に係る連携を円滑にし、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的に平成 22 年 4 月 1 日に覚書を締結しており、四者連携してのセミナー、経営・金融相談会等を宮崎県立図書館を会場にして実施している。

〈ビジネス相談会の実績〉

- ・ビジネス相談会相談受付件数（25 年度） 延べ 54 件

〈四者連携によるセミナー等の実績〉

回	期日	セミナー等の名称	参加者数(人)
1	平成25年10月10日(木)	中小企業経営セミナー	66
2	平成26年2月13日(水)	女性のための創業応援セミナー	55
合 計			121

さらに、25年度は、宮崎県農業振興公社と共催で6次産業化など経営の多角化を目指す農林漁業者を支援するためのセミナーを開催した。開講式と閉講式を宮崎県立図書館で行い、ビジネス支援サービスの紹介やセミナー関連書籍の展示を行った。

- ・平成25年度「みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾」
平成25年8月20日(火)～平成25年11月1日(金) 受講者数 46名

⑫ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ資料や情報の提供を行うため、健康情報コーナーを設置して、闘病記を中心とする図書等の展示、健康情報リンク集専用のパソコンの設置を行っている。

また、毎週土曜日に宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちの保健室」を実施している。

〈「まちの保健室」の相談者数〉(25年度) 延べ624人

⑬ パソコン・データベースコーナーの利用状況

閲覧室内に調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LAN、有線LAN共用の持込用パソコン席14席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉(25年度)

- ・インターネット専用パソコン 延べ 5,785 人
- ・持込用パソコン席 延べ 5,733 人
- ・データベース席 延べ 317 人

⑭ 複写利用状況

単位(件・枚)

年度 区分	20	21	22	23	24	25
件数(件)	9,782	9,458	7,945	7,426	6,697	6,847
枚数(枚)	72,956	65,066	60,913	57,444	48,492	49,342

(2) 館外利用事業

① 巡回文庫

移動図書館車「やまびこ」での巡回配本を行う「市町村支援事業」、「学校支援事業」とBM書庫の貸出を行う「大量貸出支援事業」と「児童教育施設等支援事業」からなる巡回文庫を実施した。この事業によりやまびこは、51の学校や図書館(室)を3巡、2つの学校を2巡した。

〈市町村支援事業〉

市町村立図書館・図書室等の支援として移動図書館車により巡回配本を実施した。

平成25年度 配本冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	配本冊数	市町村名	図書館・図書室名	配本冊数
都 城 市	高崎たちばな学び館図書室	800	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	1,500
高 原 町	高原町中央公民館図書室	616		美郷町立北郷図書館	1,500
新 富 町	新富町中央公民館図書室	671		美郷町立南郷図書館	831
西米良村	西米良村立図書館	918	高千穂町	高千穂町立図書館	1,499
諸 塚 村	諸塚村中央公民館	810	日之影町	日之影町民センター図書室	360
椎 葉 村	椎葉村民図書室	1,459	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,192
			合 計		12,156

〈大量貸出支援事業〉

BM書庫の大量貸出により市町村立図書館・図書室等を支援した。

平成25年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
宮 崎 市	清武町文化会館図書室	609	西米良村	西米良村立図書館	442
都 農 町	都農町民図書館	818	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	508
			合 計		2,377

分類別利用状況(市町村・大量貸出支援)

区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学	計
冊数(冊)	258	260	420	1,187	979	1,483	340	801	211	8,594	14,533
割合(%)	1.8	1.8	2.9	8.2	6.7	10.2	2.3	5.5	1.5	59.1	100.0

〈学校支援事業〉

学校図書館の読書環境整備支援について、移動図書館車の巡回配本により実施した。

平成25年度 配本冊数

単位（冊）

市町村名	学 校 名	配本冊数	市町村名	学 校 名	配本冊数
宮 崎 市	明星視覚支援学校	506	椎 葉 村	小崎小学校	807
	みやざき中央支援学校	448		大河内小学校	583
	赤江まつばら支援学校	388		松尾小学校	899
	みなみのかぜ支援学校	393		椎葉中学校	520
	清武せいりゅう支援学校	899	美 郷 町	北郷小学校	876
都 城 市	都城さくら聴覚支援学校	730		黒木小学校	662
	都城きりしま支援学校	733		北郷中学校	610
	みやざき学園	509		美郷南学園	1,548
延 岡 市	延岡しろやま支援学校	982	高千穂町	田原小学校	840
日 南 市	日南くろしお支援学校	727		岩戸小学校	843
小 林 市	都城きりしま支援学校小林校	681		岩戸中学校	367
日 向 市	日向ひまわり支援学校	821		田原中学校	863
新 富 町	児湯るびなす支援学校	415		延岡しろやま支援学校高千穂校	248
西米良村	村所小学校	664	五ヶ瀬町	鞍岡小学校	878
	西米良中学校	153		三ヶ所小学校	836
諸 塚 村	諸塚小学校	828		坂本小学校	886
	荒谷小学校	428		上組小学校	600
	七ツ山小学校	775		鞍岡中学校	574
椎 葉 村	椎葉小学校	729		三ヶ所中学校	710
	尾向小学校	900		五ヶ瀬中等教育学校	588
	不土野小学校	391	合 計		27,838

② 学校支援「セット文庫」

学校の読書活動や調べ学習活動支援と読書環境充実のため図書資料セットの貸出を実施した。

・平成25年度実績	高千穂町立押方小学校	貸出	157冊
	五ヶ瀬町立上組小学校	貸出	157冊
	五ヶ瀬町立坂本小学校	貸出	225冊
	高鍋町立高鍋東中学校	貸出	7冊
	合計		546冊

分類別利用状況（学校支援・セット文庫）

区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学	計
冊数(冊)	296	489	964	2,121	2,264	1,949	484	1,761	504	17,552	28,384
割合(%)	1.0	1.7	3.4	7.5	8.0	6.9	1.7	6.2	1.8	61.8	100.0

③ 親子の絆を深める子育て読書推進支援事業

〈事業目的〉

移動図書館車「やまびこ」を利用して、当該地区の子育て支援センター等と連携し、利用者の乳幼児やその保護者に対して、本の貸出や読み聞かせ会、読書推進のための講座をすることによって、読書活動の推進及び読書環境の整備を図るとともに、子育てに関する講座等を実施し、参加者の子育てを支援し、参加者相互の交流の場を設ける。

〈事業概要〉

○ 図書資料貸出

- ・ 読み聞かせ用の図書（絵本）や子育て支援に関する図書（育児書）などの図書資料の貸出を行う。

○ 読み聞かせ会および外部講師による講座の実施

- ・ 町村の子育て支援センター等において、読み聞かせ会や読書活動推進のための講座を実施する。
- ・ 子育てに関する講座を実施し、子育てにまつわる不安や悩みなどを共有したり、情報交換をするなど、参加者相互の交流を図る。

○ 情報の発信

- ・ 本館で作成した読み聞かせリーフレット、「読み継がれてきた絵本」（パンフレット）、図書館の利用方法（マイラインシステム等）の説明パンフレット等の配付及び子育て支援に関する情報の発信を行う。

〈訪問施設及び貸出状況〉

訪問施設	訪問回数	訪問者のべ数	貸出冊数
新富町（あんのん舎）	3	4 9	9 5
新富町（八幡子育て支援センター）	3	5 5	3 0 5
高鍋町（石井記念にっしん保育園子育て支援センター）	3	9 6	1 2 5
川南町（川南町子育て支援センター）	3	9 5	1 2 4
門川町（門川町子育て支援センター）	3	8 2	1 5 2
椎葉村（不土野へき地保育所、向山児童館合同）	3	9 4	1 8 8
高千穂町（高千穂町子育て支援センター）	3	1 1 7	1 5 5
五ヶ瀬町（五ヶ瀬町子育て支援センター）	3	7 0	1 9 1
合 計	2 4 回	6 5 8 人	1, 3 3 5 冊

④団体文庫

平成26年度 団体文庫登録団体一覧(平成26年4月1日現在)

No.	団 体 名	市 町 村 名	登録種別	登録年月	No.	団 体 名	市 町 村 名	登録種別	登録年月
1	赤 ず き ん	新 富 町	読み聞かせボランティア	平21.4	12	ツ バ ナ 文 庫	宮 崎 市	私設文庫 読み聞かせボランティア	平2.4
2	あ じ さ い 読 書 会	宮 崎 市	研究団体 【小説】 読み聞かせボランティア	昭54.7	13	西池小学校支援ボランティア 「お 話 し の 部 屋」	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平13.10
3	生 目 台 文 庫	宮 崎 市	私設文庫 読み聞かせボランティア	平2.4	14	の ん び り 文 庫	宮 崎 市	私設文庫 研究団体 読み聞かせ	平元.10
4	い ず み 一 座	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平25.5	15	(財)野村生涯教育センター	宮 崎 市	研修団体	平10.8
5	え ほ ん と い っ し ょ	宮 崎 市	私設文庫 読み聞かせボランティア	平15.1	16	ピーターラビットおはなシクラブ	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平18.11
6	大宮小読み聞かせサークル ひまわり	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平23.4	17	び ろ う じ ゅ	宮 崎 市	研究団体 【短歌】	平元.11
7	お は な し こ ろ り ん	高 鍋 町	読み聞かせボランティア	平15.7	18	ベ ガ の 会	宮 崎 市	研究団体 【短歌】	平25.6
8	お は な し つ た や	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平26.4	19	ぼ け っ と く ら ぶ	宮 崎 市	私設文庫 研究団体 読み聞かせ	平2.10
9	く れ よ ん	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平19.6	20	み な み か ぜ	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平12.4
10	シルバーケア短歌会「空の会」	宮 崎 市	研究団体 【短歌】	平26.1	21	宮崎至慶幼稚園絵本の会	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平17.10
11	サンシャインフレンズ	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平4.11	22	ラ ボ ・ ミ ヤ ザ キ	宮 崎 市	読み聞かせボランティア	平26.4

⑤児童教育施設等

平成26年度 児童教育施設等一覧(平成26年4月1日現在)

No.	団 体 名	市 町 村 名	登録種別	登録年月	No.	団 体 名	市 町 村 名	登録種別	登録年月
1	社会福祉法人 南方保育園	宮 崎 市	教育施設	平12.4	6	大 宮 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平22.9
2	宮崎中央福祉こどもセンター	宮 崎 市	教育施設	平21.6	7	小 松 台 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平24.10
3	宮崎大学附属幼稚園	宮 崎 市	教育施設	平25.10	8	住 吉 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平25.7
4	櫛 北 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平24.4	9	宮 崎 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平26.3
5	瓜 生 野 児 童 ク ラ ブ	宮 崎 市	教育施設	平20.7					

(3)図書館ネットワーク事業

マイラインシステムによる県立図書館資料の市町村への貸出実績

単位(冊)

	施設名	2 1 年度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度
1	宮崎市立図書館					
2	宮崎市立佐土原図書館	221	181	202	214	203
3	都城市立図書館	166	170	164	148	158
4	都城市立高城図書館	46	10	53	30	18
5	延岡市立図書館	293	266	426	297	353
6	延岡市立図書館北方分館	24	14	35	20	38
7	延岡市立図書館北浦分館					
8	延岡市立図書館北川分館					
9	日南市立図書館	842	661	749	425	458
10	日南市立まなびピア図書館					
11	日南市立北郷図書館					
12	日南市立南郷図書館					
13	小林市立図書館	166	214	194	215	216
14	小林市立図書館野尻分館	7				
15	小林市立図書館須木分館					
16	日向市立図書館	465	378	375	365	304
17	串間市立図書館	282	242	138	158	147
18	西都市立図書館	60	53	50	66	66
19	えびの市民図書館	114	87	131	89	82
20	三股町立図書館	259	210	208	242	187
21	国富町立図書館	4		5	2	2
22	綾てるは図書館	209	152	174	163	187
23	町立高鍋図書館	292	126	173	175	132
24	川南町立図書館	82	70	82	72	79
25	都農町民図書館	233	212	207	164	203
26	門川町立図書館	108	101	43	46	70
27	美郷町立西郷図書館	112	179	187	159	192
28	美郷町立北郷図書館	43	25	41	148	176
29	美郷町立南郷図書館				78	144
30	高千穂町立図書館	48	66	19	25	161
31	清武町文化会館図書室（宮崎市）	182	236	72	94	83
32	宮崎市田野公民館図書室					
33	宮崎県高岡地区農村環境改善センター図書室	77				
34	都城市山之口地区公民館図書室	5		1		
35	都城市山田総合センター図書室	3				1
36	都城市高崎たちばな学び館図書室	55	18	7	8	3
37	高原町中央公民館図書室	128	248	208	111	355
38	新富町中央公民館図書室	105	57	58	156	203
39	西米良村立図書室	158	70	76	60	53
40	木城町総合交流センターリパリス図書室	22	175	208	196	282
41	諸塚村中央公民館図書室	3	11	6	46	43
42	椎葉村民図書室			29		
43	日之影町民センター図書室					
44	五ヶ瀬町教育委員会図書室	4	3	5	1	10
	合計	4, 818	4, 235	4, 326	3, 973	4, 609

※日南市立まなびピア図書館・日南市立北郷図書館・南郷図書館は、本館（日南市立図書館）にて一括計上。

※小林市立須木分館は、本館（小林市立図書館）に含まれる。

(4) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出及び視聴覚資料等を利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出利用状況

単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

月	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出台数	利用回数	利用者数
4 月	0	0	0	9	9	1, 3 0 0
5 月	5	5	8 9 3	6	1 0	1 6 8
6 月	2 0	3 6	1, 3 0 9	6	8	9 2 6
7 月	3 1	3 8	8 3 8	3	4	9 6
8 月	5	6	7 3	1 8	2 4	5, 1 4 4
9 月	6	6	2 8 1	1	1	3 5
1 0 月	0	0	0	6	6	2 9 0
1 1 月	4	5	2 2 5	5	5	1 8 5
1 2 月	1 1	1 1	1 0 9	1 1	2 0	3 7 1
1 月	6	6	4 8 2	2	2	5 9 6
2 月	1 2	1 2	3 7 1	7	1 6	9 9 4
3 月	4	4	3 0	1 4	1 6	1, 1 0 5
合 計	1 0 4	1 2 9	4 6 1 1	8 8	1 2 1	1 1, 2 1 0

② 視聴覚行事

〈映写会〉

県民の生涯学習と子どもたちの情操教育に役立てるため、大人向けと子ども向けの映写会を実施した。

◎ 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5 月 5 日(日)	「ミッキーマウス」「ドナルドダック」	2 9
2	6 月 1 日(土)	「おじやる丸スペシャル 銀河がマロを呼んでいる」	2 8
3	7 月 6 日(土)	「学校の怪談 恐怖の学校編」 「あっちゃんのはたけ」「きいちゃんのひまわり」	2 9
4	8 月 3 日(土)	「学校の怪談 戦慄の校外編」 「世界のカブトムシ・クワガタムシ大図鑑」	7 9
5	9 月 15 日(日)	「ピーターパン」	3 5
6	10 月 12 日(土)	「四季の民話 まんまん昔の花咲いた 秋の巻」 「1 4 ひきのあきまつり」	1 2
7	11 月 10 日(日)	「もも子 かえるの歌がきこえるよ。」	1 0
8	12 月 14 日(土)	「ふしぎの国のアリス」	2 6
9	1 月 19 日(日)	「おまえうまそうだな」「きみはほんとうにステキだね」 「十二支のおはなし」「にんじゃにんじゅうろう」	5 3
10	2 月 15 日(土)	「母をたずねて三千里」	2 6
合 計			3 2 7

◎ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月5日(日)	「石井のお父さん ありがとう」(日本)	50
2	6月1日(土)	「第三の男」(イギリス)	45
3	6月21日(金)	「顔」「泥棒と殿様」(日本)	40
4	7月6日(土)	「4分間のピアニスト」(ドイツ)	48
5	7月26日(金)	「父と暮らせば」(日本)	69
6	8月3日(土)	「フランケンシュタイン」「キッド」(アメリカ)	36
7	8月23日(金)	「氷雪の門」(日本)	93
8	9月15日(日)	「1911」(中国・香港)	43
9	10月12日(土)	「ヴェニス商人」(日本)	32
10	11月10日(日)	「おじいさんと草原の小学校」(イギリス)	35
11	11月29日(金)	「風光る剣―八嶽党秘聞」(日本)	48
12	12月14日(土)	「素晴らしき哉、人生!」(アメリカ)	40
13	1月19日(日)	「太陽の子」(日本)	58
14	2月15日(土)	「孔子の教え」(中国)	58
15	2月28日(金)	「みずぶ」(日本)	104
特	3月14日(金)	「MAZE」(日本)	61
合 計			860

〈緑陰セミナー〉

子どものための自然環境に関する講座を通して、宮崎県の自然や文化についての理解を深めるとともに、生涯学習への関心・意欲を高めるため、講座を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	9月29日(日)	講演「宮崎の四季と天気の話」 講師：気象予報士 岩倉 尚哉 氏	18
合 計			18

〈緑陰コンサート〉

音楽に関する専門的な知識や技能を持つ外部講師等を招き、解説やトークなどを交えた楽器演奏会を実施した。

回	期 日	内 容	参加者(人)
1	5月3日(金)	宮崎市立大淀小学校吹奏楽部による演奏 NHK宮崎放送局アナウンサーによる朗読	約130
2	10月20日(日)	宮崎県立宮崎北高等学校吹奏楽部による演奏(アンサンブル) 宮崎県立宮崎北高等学校放送部による朗読	約80
3	12月22日(日)	柏田ゆかり氏によるピアノ演奏 藺田潤子氏(宵がたり)による朗読	約140
合 計			約350

(5) 関係機関と連動した情報発信事業

① 県政の重点施策情報発信事業

『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』を推進するためには、その主役である県民に県の施策や県民の課題等を分かりやすく周知し、理解を促すことが重要である。本事業は、県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いの資産（人・物・施設を有機的・複合的に統合させ連動して、企画展やセミナー、相談会などを開催するものであり、行政が一体となったより円滑な事業の推進を図るとともに、個人や地域の課題等の解決を積極的に支援し、「人づくりと地域づくり」に役立つことを目的として実施した。

〔事業〕 34 〔連動機関〕 74

No.	連 動 機 関	期 間	場 所	内 容
1	県道路保全課	5/14（火）～5/26（日） 12日間	1 階ロビー	宮崎県建設技術協会 全建宮崎賞PRパネル展
2	県環境森林課 宮崎県環境情報センター	5/28（火）～6/23（日） 24日間	1 階ギャラリー	「みどりの企画展 2013」
3	県砂防課	5/28（火）～6/23（日） 24日間	1 階ロビー	「土砂災害防止月間」 パネル展
4	県生活・協働・男女参画課 宮崎県男女共同参画センター	6/25（火）～7/7（日） 12日間	1 階ギャラリー	「男女共同参画週間」 啓発パネル展
5	県港湾課 宮崎県ポートセールス協議会 一般財団法人みやざき公園協会	6/25（火）～7/7（日） 12日間	1 階ロビー	「みやざきの港」 特別企画展
6	県生活・協働・男女参画課	7/9（火）～7/21（日） 12日間	1 階ロビー	「県民との協働」 パネル展
7	県自然環境課 日本野鳥の会 宮崎県支部	7/23（火）～8/4（日） 12日間	1 階ギャラリー	「愛鳥作品コンクール」 展
8	県総合交通課 宮崎交通 JR九州 ANA JAL SNA IBEX アジアナ航空 チャイナエアライン 宮崎カーフェリー	7/23（火）～8/4（日） 12日間	1 階ギャラリー	「宮崎の交通パネル展」
9	県統計調査課	7/23（火）～8/4（日） 12日間	1 階ロビー	「宮崎県統計グラフコンクール作品展」
10	県中山間・地域政策課 霧島ジオパーク推進連絡協議会	9/3（火）～9/16（月） 13日間	1 階ロビー	「霧島ジオパーク」 展
11	県総合政策課 宮崎県商工会議所連合会 宮崎県木材協同組合連合会 宮崎県環境情報センター	9/10（火）～9/16（月） 7日間	1 階ギャラリー	「ディスカバー宮崎」 企画展
12	県中山間・地域政策課	9/10（火）～9/16（月） 7日間	1 階ギャラリー	「中山間地域をみんなで支える県民運動」
13	県長寿介護課 宮崎県社会福祉協議会	9/18（水）～9/29（日） 11日間	1 階ギャラリー	「シニアパワー宮崎づくり月間展」
14	県教育庁生涯学習課	9/18（水）～9/29（日） 11日間	1 階ギャラリー	「県民総ぐるみ『学び』推進事業」
15	県生活・協働・男女参画課 県警察本部 宮崎県防犯協会連合会 宮崎県防犯設備士協会	9/18（水）～9/29（日） 11日間	1 階ロビー	安全で安心なまちづくりの普及啓発のためのパネル展

16	県環境森林課みやぎきの森林づくり推進室	10/1（火）～10/14（月） 13日間	1階ロビー	「森林づくり推進期間・森林環境税パネル展示」
	みやぎき森づくりコミッション			
17	宮崎税務署	10/16（水）～10/27（日） 11日間	1階ギャラリー	「税を考える週間」特別企画
	宮崎県租税教育推進中央協議会			
	宮崎地区租税教育推進協議会			
18	県環境森林課	10/16（水）～10/27（日） 11日間	1階ギャラリー	「エナコロジーマンス」エコギャラリー
	宮崎県環境情報センター			
19	県商工政策課	11/12（火）～11/24（日） 12日間	1階ロビー	平成25年度宮崎県中小企業大賞
20	山村・木材振興室みやぎきスギ活用推進室	11/26（火）～12/6（金） 10日間	1階ギャラリー	「みやぎきの木づかい推進」特別企画展2013
	宮崎県森林林業協会			
	宮崎県木材青壮年会連合会			
	杉コレクション2013実行委員会			
	宮崎県木材協同組合連合会			
21	県生活・協働・男女参画課	11/26（火）～12/6（金） 10日間	1階ロビー	「女性のチャレンジ応援パネル展」
	宮崎県男女共同参画センター			
22	県人権同和対策課	12/10（火）～12/23（月） 13日間	1階ギャラリー	「人権について考える」特別企画展
23	県文化文教・国際課	12/10（火）～12/15（日） 6日間	1階ギャラリー	「人権に関する企画展」～北朝鮮による拉致問題啓発パネル展～
24	県生活・協働・男女参画課	12/10（火）～12/23（月） 13日間	1階ギャラリー	「人権に関する特別企画展」 ～「女性に対する暴力をなくす運動」に関する啓発パネル展～
	宮崎県男女共同参画センター			
25	県警察本部警務課犯罪被害者支援室	12/10（火）～12/23（月） 13日間	1階ギャラリー	「人権に関する企画展」～犯罪被害者に関する企画展～
	公益社団法人みやぎき被害者支援センター			
26	県環境森林課	12/10（火）～12/23（月） 13日間	1階ロビー	「地球温暖化防止月間エコギャラリー」
	宮崎県環境情報センター			
27	県労働政策課	1/7（火）～1/19（日） 12日間	1階ギャラリー	「仕事と家庭の両立支援」特別企画展
	宮崎労働局			
	マザーズサロン			
	ハローワーク			
28	宮崎県消費生活センター	1/7（火）～1/19（日） 12日間	1階ロビー	「多重債務問題啓発パネル展」
29	県高速道対策局	1/21（火）～2/2（日） 12日間	1階ロビー	「みやぎきの高速道路」パネル展
	国土交通省			
	西日本高速道路株式会社			
30	県障害福祉課	2/11（火）～2/23（日） 12日間	1階ギャラリー	人にやさしい福祉のまちづくり展
31	県生活・協働・男女参画課	2/11（火）～2/23（日） 12日間	1階ギャラリー	交通安全啓発ポスター等展示会
32	県警察本部生活安全部生活環境課	2/11（火）～2/23（日） 12日間	1階ロビー	サイバー犯罪被害防止パネル展
33	県文化文教・国際課	2/25（火）～3/9（日） 12日間	1階ギャラリー	みやぎきの「ひと」
34	県環境森林課	2/25（火）～3/9（日） 12日間	1階ギャラリー	「省エネルギー月間」エコギャラリー
	宮崎県環境情報センター			
計	74 連動機関	413日間	1階ギャラリー 20事業 1階ロビー 14事業	34事業

② 主催事業

No.	課・担当	期 間	内 容
1	情報提供課 情報総括担当	4/2(火)～4/7(日)	郷土の出版社特別企画展
2	情報提供課 情報提供担当	4/23(火)～5/12(日)	「こどもの読書週間」関連企画展
3	総務・企画課 企画担当	4/23(火)～5/26(日)	「温故知新」パネルでたどる置県130年！
4	総務・企画課 企画担当	7/9(火)～7/21(日)	6館イベント紹介展
5	総務・企画課 企画担当	8/6(火)～8/18(日)	夏休み特別企画展
6	情報提供課 情報総括担当	8/20(火)～9/1(日)	口蹄疫予防展示2013
7	情報提供課 情報総括担当	9/3(火)～9/8(日)	自殺予防企画展
8	情報提供課 情報総括担当	10/1(火)～10/14(日)	みどりの図書館資料特別企画展
9	情報提供課 情報提供担当	10/29(火)～11/10(日)	秋の読書週間企画展
10	総務・企画課 企画担当	1/21(火)～2/2(日)	宮崎のスポーツを応援しよう企画展
11	総務・企画課 企画担当	3/11(火)～4/6(日)	「みやざきの言の葉」でたどる宮崎観光展

③ 共催事業

No.	主催者	担 当	期 間	内 容
1	NHK 宮崎放送局	企画担当	4/9(火)～4/21(日)	「ぼくの絵・わたしの絵」展
2	福祉保健部	企画担当	8/6(火)～8/18(日)	宮崎県平和展
3	福祉保健部	情報提供担当	10/16(水)～10/27(日)	「思春期こころの健康」企画展
4	NHK 宮崎放送局	郷土情報担当	11/19(火)～11/24(日)	大河ドラマ全国巡回展 「八重の桜」展
5	福祉保健部	情報提供担当	2/25(火)～3/9(日)	自殺対策強化月間関連企画展

(6) 文化活動事業

① 第55回「こどもの読書週間」記念行事

「こどもの読書週間」は、子どもたちに良い本や良い雑誌に親しんで読書の楽しみや喜びを知ってもらい、また、大人には子どもにとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供する。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、体験等を通して読書へ誘うことをねらいに、次の行事を実施した。

期 間 平成25年4月23日（火）～ 5月12日（日） ※4月23日「子ども読書の日」

内 容

- ① 記念イベント「かば先生文庫」開設式
除幕式
UMKアナウンサー高橋巨典氏による絵本の読み聞かせ
- ② 企画展示
郷土の児童作家等の本
「かば先生文庫」紹介 など
- ③ おはなし会
宮崎大学竹内准教授と学生による読み聞かせとアニメーション
職員及びボランティアによる絵本の読み聞かせ
- ④ 緑陰コンサート(こども向けの音楽会)
- ⑤ こども映写会(「ミッキーマウス」、「Donald Duck」)

※ 「かば先生文庫」

平成24年に宮崎市の佐藤小児科院長であった故佐藤雄一氏の御家族から児童図書の寄贈があり、その寄贈本コーナーを「かば先生文庫」として平成25年4月29日に開設。「かば先生」は佐藤院長の愛称から。

② 第67回「読書週間」関連事業 平成25年度「みどりの図書館フェスタ」

読書の普及と出版文化の向上と発展のため、昭和22年に（社）読書推進運動協議会により第1回「読書週間」が開催された。以後、毎年文化の日を中心に10月27日（文字・活字文化の日）から11月9日の期間を「秋の読書週間」として、日本の国民的行事として定着している。

そこで、県立図書館においても読書の大切さを広く県民に普及・啓発し県民文化の向上を図るため、「みどりの図書館フェスタ」を実施した。

期 日 平成25年11月3日(日)「文化の日」

内 容

- ・オープニング（中学生による合唱）
- ・絵本の読み聞かせ
- ・オリジナルしおりづくり
- ・クイズラリー
- ・手品&バルーンアート
- ・朗読「みやざきの言の葉」
- ・都農神社「浦安の舞」
- ・エプロンシアター
- ・スタンプラリー
- ・エンディング（優良読書団体表彰、お楽しみ抽選会）

③ 特別展等

テーマを設定して、館蔵資料などを2階特別展示室で展示・公開し、貴重な資料を広く県民に公開した。さらに、県内の生涯学習施設や諸機関と連携して巡回展や共催展を行い、宮崎県の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。

〈特別展〉

置県130年記念「宮崎県誕生」

期 間 平成25年4月23日(火)～5月26日(日) 開催日数：30日
内 容 5月9日の置県の日を含む時期を会期として、廃藩置県から宮崎県再置までの過程をたどりながら、分県運動の推移と運動に関わった人々を紹介した。

「江戸時代 日向国の社会と生活史展 一殿さまから庶民まで」

期 間 平成25年7月30日(火)～9月8日(日) 開催日数：36日
内 容 本館蔵「佐土原藩島津家日記」や絵図、「一字一石経」を展示しながら、大名や武士の生活とともに庶民の生活実態を知る機会を提供した。

〈企画展〉

「杉田文庫の世界～江戸時代の藩札～」

期 間 平成26年2月11日(火)～3月9日(日) 開催日数：24日
内 容 本館の代表的なコレクションである杉田文庫から、江戸時代に発行された藩札や明治初期の太政官札・民部省札を展示し、日向国の経済を考える機会とした。

〈巡回展・共催展〉

○巡回展「宮崎県誕生」

期間・会場 日向市立図書館(6/11～6/30)、日南市小村記念館(8/2～8/18)、
えびの市歴史民俗資料館(10/2～10/24)

内 容 各施設・教育委員会と共催で、本館で実施した置県130年記念特別展「宮崎県誕生」を県内3会場に巡回させて実施した。

○ 埋蔵文化財センター発掘速報展「発掘された遺物たち2013」

期 間 平成25年7月6日(土)～7月15日(日) 開催日数9日
内 容 宮崎県埋蔵文化財センターと共催。「みやざき発掘100年物語」の一環として新しい発掘成果を特別展示室で公開展示

＊記念講座「戦後の宮崎県の考古学調査－宮崎県と私の関わり－」

実施日：7月7日(日) 講師：小田富士雄(福岡大学名誉教授)

○ NHK大河ドラマ『八重の桜』展

期 間 平成25年11月19日(火)～24日(日)
内 容 NHKが実施する全国巡回展を共催。写真資料や小道具・衣裳などを展示

④ 郷土史料等学習活動

〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、本館視聴覚室において文化講座を次のとおり実施した（第4回のみ研修ホールを使用）。

受講者計 192 名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	5 月 11 日 (土)	宮崎県再置と県内教育の展開	日向学院高等学校 竹村茂紀 氏	13
2	7 月 13 日 (土)	発掘された火起こしの歴史と文化	宮崎県立西都原考古博物館 藤木 聡 氏	31
3	8 月 24 日 (土)	岬馬の生態	串間市文化財専門員 秋田 優 氏	26
4	9 月 28 日 (土)	文学と故郷 ～私を突き動かす宮崎の山河～	作家 高山文彦 氏	122

* 4 回目の文化講座は公益社団法人宮崎県不動産鑑定士協会の協賛を得て、「宮崎県文化講演会」として実施

〈古文書解読講座〉

古文書解読を基礎・中級・上級のレベルに分けて行い、古文書に対する興味・関心を高め、古文書を読める人材の育成を目的とした。平成25年度は、基礎2回、中級3回、上級2回、合計7回の講座を実施し、各段階の皆勤受講者には受講証を発行した。

基 礎 講 座

受講者計 64 名

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者数
1	5 月 30 日 (木)	くずし字の読み方からはじめて、「佐土原藩島津家日記」を読む	みやざき歴史文化館ボランティアの会 藤原 恵 氏	36
2	6 月 13 日 (木)			28

中 級 講 座

受講者計 58 名

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者数
1	6 月 29 日 (土)	「佐土原藩島津家日記」を読み、当時の時代背景まで考察する。	みやざき歴史文化館ボランティアの会 中元 暢一 氏	20
2	7 月 25 日 (木)			19
3	8 月 29 日 (木)			19

上 級 講 座

受講者計 22 名

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者数
1	10 月 19 日 (土)	内藤家文書を読み進め、難解な古文書の解読と内容について教授。	宮崎公立大学 教授 大賀 郁夫 氏	11
2	11 月 16 日 (土)			11

* 上級講座については古文書が読めることを受講条件とし、事前申込み制として受講定員を 20 名に設定

〈宮崎歴史楽講座〉

教職員及び教育関係職員を対象に、本館所蔵資料を利用して主に近世の地方史を講義した。教職員が、学校及び地域において授業や社会教育に活かせる内容をテーマに取り上げ、参加者の学ぶ意欲を高め、必要な知識の修得をめざした。年5回実施。

講師：徳永孝一（本館郷土資料調査員）

受講者数計39名

	月日	会場	テーマ	受講者数
1	6月8日(土)	研修室	戦国末期における日向国の状況	7
2	8月10日(土)	特別研究室	江戸時代の日向国の社会と生活史について (特別展から)	8
3	10月12日(土)	特別研究室	戦国武将の一日と秀吉の軍勢催促朱印状	7
4	12月14日(土)	特別研究室	赤穂浪士討ち入り事件と大名家	8
5	2月15日(土)	特別研究室	宮崎平野の関ヶ原～黒田勘兵衛(如水)の計略	9

⑤ 次世代につなぐ「みやざきの言の葉」継承事業

宮崎に伝わる神話・伝承等、本県の価値ある言語文化に関心を持ってもらい、県民総ぐるみで次世代に語り継ぐ活動を推進し、記紀編さん1300年の展開を図る。

〈「みやざきの言の葉」語り部養成講座〉

シニア世代や読書活動ボランティア等を対象に、神話・伝承や民話の知識と語りの技法を学ぶための講座を開催した。

○西都会場(西都市公民館)

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	6月22日(土)	講義「日向神話の魅力」	宮崎県立看護大学 准教授 大館真晴 氏	延べ 111
2	7月13日(土)	講義・演習「宮崎の神話・伝承の 語りに挑戦～その1～」、「同～そ の2～」	宮崎市神話・観光ガイド ボランティア協議会 会長 岡田勝運 氏 宇都裕子 氏	
3	8月10日(土)			
4	9月7日(土)	講義「宮崎県民話の魅力を発見し てみよう」	南九州大学 教授 矢口裕康 氏	
5	10月19日(土)	講義・演習「宮崎の民話の語りに 挑戦～その1～」、「同～その2～」	宮崎語り手の会「おはなし さんぽ道」 那須道子 氏	
6	11月16日(土)			

○日南会場(日南市生涯学習センター まなびピア)

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	6月29日(土)	講義「日向神話の魅力」	宮崎県立看護大学 准教授 大館真晴 氏	延べ 161
2	7月27日(土)	講義・演習「宮崎の神話・伝承の語り に挑戦～その1～」	宮崎市神話・観光ガイド ボランティア協議会 会長 岡田勝運 氏 宇都裕子 氏	
3	8月24日(土)	の2～」		
4	9月14日(土)	講義「宮崎県民話の魅力を発見してみよう」	南九州大学 教授 矢口裕康 氏	
5	10月26日(土)	講義・演習「宮崎の民話の語り に挑戦～その1～」	宮崎語り手の会「おはなし さんぽ道」 那須道子 氏	
6	11月23日(土)	「同～その2～」		

〈子どものための「みやざきの言の葉」講座〉

小中学生が郷土の言語文化のよさを有識者や語り部から学ぶための講座を開催した。

○会場 西都市公民館

回	期 日	講 座 内 容	講 師	受講者
1	7月23日(火)	みやざきの神話や伝承を学ぼう	宮崎市神話・観光ガイド ボランティア協議会 会長 岡田勝運 氏 宇都裕子 氏	21 (2)

2	7月30日(火)	みやざきの文学を学ぼう	宮崎県立図書館 名誉館長 伊藤一彦 氏	42 (13)
3	8月6日(火)	みやざきの民話を学ぼう	さどわら語りの会 林 都子 氏 石崎芳行 氏	19 (6)
4	8月20日(火)	みやざきの歌や言葉を学ぼう	椎葉綾心塾 塾長 綾部正哉 氏	21 (4)
合 計				103 (25)
受講者の()内の数は子どもの人数				

※ 対象は、小学校3年生以上・中学生、読書活動ボランティア、教職員などとし、親や祖父母など家族同伴の参加も可能とした。

〈子どものための発表活動〉

言語文化等の継承活動をしている小中学生に発表の場を提供した。

期 日	内 容	発 表 者
11月3日(日)	都農神社「浦安の舞」	都農町立都農中学校 生徒(3年生、4名)

※ 11月3日に実施した図書館フェスタにおいて実施

〈巡回展〉

記紀、宮崎の神話・伝承等に関するパネルを県内公共図書館等にて巡回展示した。

○西都会場

期 日	開催日数	会 場	入場者数
8月20日(火)～ 8月31日(土)	12日	西都原ガイダンスセンター このはな館	974

○日南会場

期 日	開催日数	会 場	入場者数
11月12日(火)～ 11月23日(土)	12日	日南市生涯学習センター まなびピア	2,543

〈講演会〉

記紀、宮崎の神話・伝承等に関する著名な研究者を招聘し講演会を開催した。

期 日	演 題	講 師	会 場	参加者数
8月31日(土)	奈良平安時代の 日向国	九州大学大学院人文科学研究院 教授 坂上康俊 氏	県立西都原 考古博物館	87

(7) 郷土資料調査研究事業

県内各地域に散在する郷土に関する資料を収集するとともに、印刷物の刊行を行った。

①『宮崎県史料』

昭和49年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として事業を行っている。

平成25年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（十五）』を刊行した。

②文化講座研究紀要

本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

平成25年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第40輯』を刊行した。

(8) ホームページ活用事業

県内全域をサービスエリアとする県立図書館として、県内均質のサービス向上を図るとともに、高度情報化社会に対応した図書館づくりを進めるため、図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

- ・総合利用案内、行事の案内と紹介、郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・県立図書館蔵書検索及び県内公共図書館等の横断検索
- ・パスファインダー（調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介）
- ・Eメールによるレファレンス
- ・インターネットからの予約申し込み

〈パソコン用トップページアクセス件数の推移〉

単位（件）

年 度	19	20※	21※	22	23	24	25
件 数	155,403	135,593	97,608	114,549	128,534	102,916	135,346

□平成20年度のアクセス件数は、システム入れ替えのため、平成20年4月～平成21年1月末のみ

□平成21年度(システム入れ替え)以降は、プログラムの変更により計数方法が異なる。

〈主なページのアクセス件数〉（平成25年度） 単位（件）

主なページ	件 数
蔵 書 検 索	170,220
県内横断検索	103,233
ご 利 用 案 内	11,941

〈モバイル用トップページアクセス件数の推移〉 単位（件）

年 度	21	22	23	24	25
件 数	2,688	7,790	8,573	5,468	7,496

□ モバイル用ページは、システム入れ替えにより平成21年度から新たに開設した。

(9) 体験学習・施設見学

図書館の業務や役割を理解し、図書館の活用を推進することを目的に、施設見学等を積極的に受け入れている。また、図書館業務を体験することにより、仕事の意義や大切さを知るとともに将来の進路選択に役立つよう、体験学習を積極的に支援している。

〈図書館体験学習〉（施設見学を含む）

単位（団体・人）

種 別	団体数	延人数	備 考
幼稚園・保育所	3	205	
小 学 校	12	736	
中 学 校	5	179	体験学習 4校 12名
高 等 学 校	4	50	体験学習 3校 7名
特別支援学校	2	31	
大 学	4	16	司書実習 1校 4名 インターンシップ 1校 3名
計	30	1,217	

(10) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から永年小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立てほしいとの趣旨で、10年間で約3,000冊の児童図書の寄贈申出があり、亡くなられた先生の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室と移動図書館車「やまびこ」内に「かば先生」コーナーを設けた。

〈利用開始までの経緯〉

- ・平成24年12月11日 御遺族からの「絵本贈呈式」の開催 1階ロビー
- ・平成25年 2月14日 児童図書室内「かば先生」コーナー用書棚の増設
- ・平成25年 4月29日 子どもの読書週間内で「かば先生」コーナーの開設式の開催（利用開始） 1階ロビー
- ・「かば先生文庫」整備数（平成26年3月31日現在）
1,116冊（内訳 児童図書室454冊、BM書庫662冊）

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

図書館協議会は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条に基づき条例により設置
（図書館運営に関し館長の諮問に応じ、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関）

① 委員（任期 平成 24 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

区 分	所属・職名	氏 名	区 分	所属・職名	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	県学校教育研究会図書館教育部会事務局長	木下 和子	家庭教育向上 活動を行う者	宮崎県高等学校 P T A 連合会副会長	黒木 征代
〃	宮崎市立内海小学校長	菊地 照代	〃	読書ボランティア団体「宮崎子ども と本をつなぐネットワーク」事務局	愛甲 かおり
社 会 教 育 関 係 者	高原町教育委員会 教育長	江田 正和	学識経験者	財団法人宮崎県産業 支援財団常務理事	中武 賢藏
〃	宮崎大学産学・地域連携 センター地域連携部門長准教授	山田 裕司	〃	宮崎日日新聞社 文化部次長	中川 美香
〃	宮崎県地域婦人連絡協 議会幹事	浜砂 澄子	〃	(公募委員) 福岡女子大学名誉教授	恒吉 良隆

※ 所属・職名については、平成 24 年 7 月 1 日現在

② 前年度の開催状況

開催年月日	協 議 事 項
平成 25 年 7 月 8 日	ア 平成 25 年度事業計画・課題について イ 今後の県立図書館の運営について
平成 26 年 3 月 13 日	ア 平成 25 年度事業進捗状況について イ 平成 26 年度予定事業等について

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図る目的をもって昭和33年に発足。昭和48年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

平成25年度は、下記のと通りの事業を実施した。

① 役員名簿（平成26年度）

役 名	職 名	氏 名	備 考
会 長	宮 崎 県 立 図 書 館 長	内 戸 保 博 秋	
副 会 長	宮 崎 市 立 図 書 館 長	新 頭 宏 光	
〃	日之影町民センター図書室長	戸 高 晴 男	
監 事	門 川 町 立 図 書 館 長	藤 崎 富 男	
〃	美郷町立西郷（北郷、南郷）図書館長	長 尾 勇	
顧 問	宮 崎 県 市 長 会 長	戸 敷 正	
〃	宮 崎 県 町 村 会 長	椎 葉 晃 充	

② 事業実績

〈会 議〉

期 日	会 場	議 題
平成25年 5月27日(月)	県立図書館	I 総 会 1 平成24年度事業実績及び収支決算報告 2 平成25年度事業計画案及び収支予算案 3 平成25年度役員選出 4 協議事項 ・相互貸借について ・利用者リクエストについて ・インターネット、電子メール、FAX、電話での予約・リクエストの受付について ・利用者一人あたり貸出冊数制限の緩和について ・寄贈図書(視聴覚資料も含む)の受入基準について 5 表彰式 II 研修会 1 講演 「これからの公立図書館の役割について考えよう ーひと・地域づくりの拠点への転換期ー」 講師 山田 裕司 氏（宮崎大学 産学・地域連携センター 准教授） 2 事務連絡 (1) 県立図書館各担当 ・県立図書館利用の手引きの説明 ・宮崎県公共図書館等雑誌目録（分担保存・所蔵一覧）の取扱いについて (2) 環境情報センター ・出前講座の紹介等 (3) 畜産振興課 ・口蹄疫に関する防疫と再生・復興パネル等の県内巡回について
平成26年 3月10日(月)	県立図書館	中心館会議 1 平成25年度各支部の事業執行状況について 2 平成26年度に向けて

〈研 修〉

期 日	会 場	内 容
平成25年 7月1日(月)	県立図書館	新任職員研修会（講師等はいずれも県立図書館職員） ・説 明 「図書館ネットワークの活用法について」 ・講 義 「資料の収集等について」 ・講 義 「著作権について」 ・ワークショップ 「図書館サービスの現状・課題と展望について」
平成25年 10月28日(月)	県立図書館	職員研修会 ・講 義 「図書館・図書室スタッフのためのスキルアップ研修 ～スタッフが生き活きと働けるコミュニケーション術～」 講 師 工藤 智徳 氏（人材科学研究所 代表）
平成26年 1月20日(月)	県立図書館	専門研修会 ・講 義 「地方分権時代における公共図書館の可能性 ～その現状 と課題～」 ・ワークショップ 「地域を変えるチカラとなるために、公共図書館は何を する？」 講 師 下吹越 かおる 氏（指宿市立指宿図書館 館長）

〈県外研修派遣〉

5 名

〈図書館アドバイザー派遣〉

6 館

③ 平成25年度総会表彰者名簿

読書普及優良団体・個人

読 書 団 体 名	代 表 者 名
山西 耕夫 (新富町)	—
ゆめのおくりもの (都城市山田町)	瀬之口ヤス子
ゆめの本文庫 (延岡市)	菅家 幸子
めにめに (日向市)	三股 益美
新富音声訳グループ 「たんぽぽ」 (新富町)	清 美智子

優良職員

所 属	職 名	氏 名
該当者なし		

(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和48年11月10日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

① 事業実績

〈役員会〉 平成25年5月9日(木) 会場：県立図書館研修室

役員会では、総会に諮る決算・予算、事業計画について審議が行われた。

〈総会・研究発表会〉

平成25年6月18日(火) 会場：県立図書館研修ホールほか

役員会で協議した提案事項について審議が行われ、すべての議案が承認された。また、平成26年度の秋季研究発表大会の担当が県央地区の高鍋史友会に決定した。

総会に引き続き行われた研究発表会は、県総合博物館の佐藤省吾氏を講師に招き、「梓山山論とその歴史的意義」と題して話をしていただいた。

〈秋季研究発表大会〉 中止

平成25年10月25日(金)に都城市ウェルネス交流プラザと都城島津邸を会場に実施する予定であったが、台風27号と28号の接近に伴い、中止を余儀なくされた。会員に当日配布するために準備した諸資料を送付し、会の開催に代えることになった。

〈その他〉

- ・「地方史みやざき 第58号」の発行

② 役員及び加入団体

〈役員〉 任期：平成24年6月～平成26年6月

会 長 飛田博温(高鍋史友会)

副会長 中城順一(延岡史談会)、石川正男(日南郷土史会)

監 事 湯浅倉平(個人理事)、秋葉国夫(佐土原地区郷土史同好会)

地区理事 甲斐誠二(日向市史談会)、牧 貴(日向郷土文化研究所)

亀澤轟幸(えびの市史談会)、坂元克吉(都城史談会)

吉田美代治(串間史談会)

顧問 杉尾良也(宮崎県地方史研究会)

事務局 宮崎県立図書館内

<加入団体>

(平成26年3月31日現在)

名 称	代 表 者	所 在	名 称	代 表 者	所 在
延岡史談会	中城順一	延岡市	宮崎県埋蔵文化財 センター	向井大蔵	宮崎市
椎葉史談会	黒木勝実	椎葉村	日向郷土文化 研究所	牧 貴	宮崎市
諸塚史談会	甲斐重光	諸塚村役場	佐土原地区郷土史 同好会	原口 勝	宮崎市
日向市史談会	柏田公和	日向市教育委員会	えびの市史談会	亀澤轟幸	えびの市
木城史友会	永友一郎	木城町	小林史談会	齋藤 勉	小林市
高鍋史友会	飛田博温	高鍋町	都城史談会	坂元克吉	都城市
宮崎考古学会	岩永哲夫	宮崎市	南九州文化研究会	山下博明	都城市
宮崎県地方史 研究会	杉尾良也	県立図書館	日南郷土史会	石川正男	日南市
宮崎県総合博物館	長嶺泰弘	宮崎市	串間史談会	吉田美代治	串間史教育委員会
宮崎県民俗学会	原田 解	宮崎市	北郷町史談会	本山隆義	日南市
大淀川史談会	佐原正寛	宮崎市			

○団体会員：21団体 個人会員：8名

(4) 平成26年度 宮崎県立図書館資料推薦委員

番号	推薦分野	氏 名	所 属 等
1	哲学	柏葉 武秀	宮崎大学教育文化学部准教授
2	歴史学 (古代史、中世史)	永井 哲雄	元県史編さん室長
3	歴史学 (近世史)	大賀 郁夫	宮崎公立大学教授
4	歴史学 (西洋史)	中堀 博司	宮崎大学教育文化学部准教授
5	自然科学	木下 統	宮崎大学農学部准教授
6	社会科学	久保 和華	宮崎公立大学准教授
7	社会科学	飯島 忠夫	宮崎県弁護士会
8	語 学	伊勢野 薫	宮崎大学教育文化学部教授
9	〃 (英語)	キム・ヘイン	文化文教・国際課国際交流員
10	〃 (英語)	ヒュー・ニコル	宮崎公立大学教授
11	〃 (韓国語)	李 善愛	宮崎公立大学教授
12	〃 (中国語)	田宮 昌子	宮崎公立大学准教授
13	〃 (中国語)	園田 美伽	宮崎公立大学等非常勤講師
14	〃 (外国語一般)	橋口 貴至	宮崎県国際交流協会常務理事
15	文 学	大津 貞子	宮崎児童文学まりの会会長
16	図書館学	佐藤 由紀枝	宮崎学園短期大学非常勤講師
17	自然科学・歴史	富高 敏明	県総合博物館長
18	美 術	渡辺 義人	県立美術館長
19	行 政	佐野 詔藏	産業振興課長
20	教 育	中野 通彦	教育研修センター所長
21	産 業	兒玉 洋一	宮崎県産業振興機構経営情報課長
22	健 康	和田 陽市	都城保健所長兼小林保健所長
23	衛生・環境	竹井 正行	衛生環境研究所長
24	工 学	古賀 孝士	工業技術センター所長
25	土木・建築	高橋 利典	技術企画課長
26	農 業	井上 裕一	総合農業試験場長
27	水 産	神田 美喜夫	水産試験場長
28	畜 産	西元 俊文	畜産試験場長
29	林 業	河野 憲二	林業技術センター所長
30	体 育	向井 大蔵	スポーツ指導センター所長

【 參考資料 】

1 沿革

(1) 県立図書館のあゆみ

年 月	図 書 館 の 歩 み
明治 35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立。蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)。
大正 4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設。
昭和 24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築。
昭和 26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足。
昭和 29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始。
昭和 30 年 4 月	佐土原藩嶋津日記の翻訳開始。
昭和 33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足。
昭和 34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失。
昭和 36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む) で新館完成。鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)。
7 月	開 館
9 月	「やまびこ」2 号車運行開始。
昭和 37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設。
昭和 40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行。
昭和 41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始。
昭和 42 年 5 月	複写サービス開始。
昭和 43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始。
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始。
8 月	「やまびこ」3 号車運行開始。
昭和 44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行。
昭和 45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始。
	内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始。
7 月	閲覧室冷房工事完了。
昭和 46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行。
昭和 47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行。
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)。
9 月	県内公共図書館連絡協議会へ 21 市町村の加入。
昭和 48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行。
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠点サービス方式に切り換えることにし当年度に 22 町村が完了。
	宮崎県史料刊行事業開始。
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入。
	小中学生に対する館外貸出制度新設。
11 月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和 49 年 1 月	購入雑誌を 146 種類（従来 63 種類）に増加。
3 月	蔵書目録第 4 巻（芸術、語学、文学編）刊行。
4 月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係。資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立した。 古文書解読研究会（館内職員）発足。 郷土文化講座（4 講座）を開催。 県内の読書推進に寄与することを目的に 10 冊文庫を設置。 拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設。
11 月	全国公共図書館整理部門研究集会（27 日～29 日 中小企業センターほか）を開催。
昭和 50 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 1 輯刊行。 宮崎県史料の刊行開始。
4 月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設。延岡・都城・小林の 3 地区で開催。 へき地の小中学生を対象に「へき地仲よし子ども大会」を開催。
昭和 51 年 1 月	郷土文化講座（4 講座）に自然科学講座を加える。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 2 輯刊行。 蔵書目録第 5 巻（昭和 48 年度までの補遺）刊行。
昭和 52 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 3 輯刊行。
4 月	重要貴重図書購入 5 ヶ年計画を立案、実施。
8 月	「やまびこ」4 号車運行開始。
10 月	蔵書目録第 6 巻（昭和 49 年度増加目録）刊行。
昭和 53 年 1 月	宮崎県地方史研究紀要第 4 輯刊行。
3 月	蔵書目録第 7 巻（昭和 50 年度・51 年度増加目録）刊行。
昭和 54 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 5 輯刊行。
4 月	N. D. C8 版・N. C. R 予備版に切換え。
6 月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始。
8 月	全館冷房工事完了。
10 月	開架室の増設（2 万冊を 2 万 4 千冊に）。
昭和 55 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 6 輯刊行。
6 月	児童読書傾向調査実施。
昭和 56 年 1 月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 7 輯刊行。
6 月	県民読書傾向調査実施。
昭和 57 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 8 輯刊行。
9 月	県民読書環境整備促進事業実施（12 月まで）。
12 月	西日本子ども文庫寄贈（第 5 回目 200 冊）西日本新聞社。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和 58 年 1 月	日曜日開館試行（3 月まで第 2、第 4 日曜日）。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 9 輯刊行。
5 月	日曜日開館再試行（3 月まで第 3 日曜日を除くすべての日曜日）。
9 月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議に館長が委員として参画。
昭和 59 年 3 月	上記検討会議が宮崎県総合文化公園基本構想策定に関する意見を提出。 宮崎県地方史研究紀要第 10 輯刊行。
4 月	日曜日開館実施。
6 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2 月まで委員会 11 回を開催）。
昭和 60 年 1 月	宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）。
3 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会で新館建設計画書を作成、県教育委員会へ報告。 宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県総合文化公園基本計画公表。 宮崎県地方史研究紀要第 11 輯刊行。
4 月	新館建設準備委員会（3 月まで 5 回開催）及びコンピュータ導入委員会（3 月まで 13 回開催）設置。
7 月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体）。昭和 61 年 3 月 20 日設計完了。
9 月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 500 万円寄贈。（「岩切文庫」創設）。
10 月	全国公共図書館整理部門研究集会（17 日～18 日ホテルフェニックス）を開催。
昭和 61 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 12 輯刊行。 宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ）。 杉田文庫目録（図書の部）刊行。
10 月	新館建設工事契約県議会議決。 新館建設工事着工。
昭和 62 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 13 輯刊行。 杉田文庫目録（遺墨類）刊行。
12 月	新館完成、引渡。
昭和 63 年 1 月	旧館閉鎖。
2 月	新館へ移転開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 14 輯刊行。
4 月	機構改革 4 課 8 係。
5 月	新館落成・開館記念式典及び記念行事。 コンピュータ・システム稼働。 財団法人宝くじ協会より移動図書館車寄贈。（「やまびこ」5 号車運行開始。） 安井息軒銅像除幕式。 開館記念 「杉田文庫 稀覯資料展」開催。 「杉田文庫 俳諧資料展」開催。
7 月	図書館ボランティア養成講座開設。

年 月	図 書 館 の 歩 み
昭和 63 年 10 月	全国図書館大会次期開催誘致表明。
11 月	読書週間記念「杉田作郎展」開催。
平成元年 2 月	全国図書館大会準備会発足。
2 月	全国図書館大会分科会構成検討委員会開催。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー 1」作成。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 15 輯刊行。
4 月	平成元年度全国図書館大会第 1 回実行委員会開催。
5 月	新館開館 1 周年記念「よい絵本展」「緑陰映写会」「外国図書展」「稀覯資料特別展」開催。
7 月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察。
10 月	平成元年度全国図書館大会第 2 回実行委員会開催。 平成元年度全国図書館大会（25 日～27 日サンホテルフェニックス外）開催。
11 月	日本図書館協会百年史県内編集会議。
平成 2 年 1 月	新館の入館者 100 万人を突破。
2 月	児童図書館研究会宮崎学習会開催（延岡ロイヤルホテル）。
3 月	平成元年度全国図書館大会第 3 回実行委員会開催。 宮崎県地方史研究紀要第 16 輯刊行。 ビデオテープ「宮崎県内の若山牧水歌碑そのー 2」作成。
7 月	第 1 回緑陰ビデオフォーラム開催。
11 月	九州各県及び政令指定都市立図書館郷土資料部門研究集会（29 日～30 日みやざき会館）開催。
平成 3 年 1 月	「瑛九作品展」開催。
3 月	図書館紹介ビデオ作成。 宮崎県地方史研究紀要第 17 輯刊行。 「嶺南日誌」1 巻の発行（3 巻で終刊）。
5 月	九州各県及び政令指定都市立図書館長会議（28 日～29 日みやざき会館）開催。
平成 4 年 3 月	県立図書館コンピュータシステム一部開発（蔵書目録・主題検索）。 宮崎県地方史研究紀要第 18 輯刊行。
6 月	「杉田文庫 資料展」開催。
9 月	第 1 回宮崎県図書館ネットワーク検討委員会開催。
10 月	宮崎県立図書館創立 90 周年記念「文化講演会」開催。
平成 5 年 2 月	九州地区公共図書館ゼミナール開催。
3 月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定。 県立図書館コンピュータシステム一部開発（利用者開放端末・ネットワークシステム）。 宮崎県地方史研究紀要第 19 輯刊行。
4 月	コンピュータ新システムへ移行（MILAI II）。
6 月	「杉田文庫 常設展」開催。
7 月	宮崎県立図書館コンピュータネットワークシステム（通称 Myline）運用開始（当初 5 市町村加入）。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 5 年 7 月	宮崎県立図書館協力連絡車運行開始。
10 月	「瑛九作品展」開催。
平成 6 年 1 月	「杉田文庫 常設展」開催。
3 月	図書館利用案内ビデオ「本・出会い」作成。 宮崎県地方史研究紀要第 20 輯刊行。 「内藤充真院道中記」刊行。
6 月	「杉田作郎と 50 名の俳人たち」開催。
9 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総務・情報部門担当者会議開催。
10 月	「杉田文庫 はるかなる芭蕉展」開催。
平成 7 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 21 輯刊行。 「佐土原藩・唐船漂着記」刊行。 図書館利用案内ビデオ「本のかけ橋」制作。 県立図書館ネットワークシステムへ 20 市町村加入済。
10 月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊展」開催。 「芥川賞・直木賞受賞作品と作家肖像展」開催。真筆特別展「杉田文庫の世界」開催。
12 月	「21 世紀の子どもたちに伝えるみやざきの本 100 冊の本」刊行。
平成 8 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 22 輯刊行。 「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行。
4 月	機構改革 4 課 7 係。 ビデオテープ「目で見るみやざき 100 冊の本」、カセットテープ「耳で聞く 100 冊の本」作成。
平成 9 年 1 月	「杉田文庫公開展」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 23 輯刊行。 「佐土原藩譜」刊行。 瑛九絵画作品等 86 点を県立美術館へ移管。
6 月	図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更。
10 月	特別展「サミット新聞報道展」を開催。 特別展「文学賞受賞作品展」、「牧水賞・牧水作品展」開催。
11 月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施。
平成 10 年 1 月	「城ヶ崎俳壇・作郎の周辺」開催。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 24 輯刊行。 「佐土原藩譜（二）」刊行。 マイライン全市町村接続。
4 月	新コンピュータシステム「liswing」の稼働。 CD-ROM 設置。
6 月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年～11 年）。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 10 年 8 月	美術館、芸術劇場と初の共同企画事業 特別展 「華麗なるハプスブルク家ゆかりの図書展」開催。
10 月	図書館づくりフォーラム開催。 特別展「郷土の文学・受賞作家作品展」開催。
11 月	「図書館フェスタ」開催。
平成 11 年 1 月	「杉田作郎品展」開催。
3 月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして 30 万円寄贈（「平嶋文庫」創設）。 宮崎県地方史研究紀要第 25 輯刊行。 「佐土原藩譜（三）」刊行。
6 月	館蔵貴重資料展「20 世紀の初等教育を支えた教科書展」開催。
7 月	美術館との共同事業特別展「風の記憶 安野 光雄ポスターと図書展」開催。
平成 12 年 1 月	「杉田文庫近代文学展」開催。
4 月	インターネットによるホームページ開設。
6 月	サミット宮崎外相会合記念特別展「サミット図書展」開催。
9 月	宮崎県地方史研究紀要第 26 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（一）刊行。
10 月	全国公共図書館参考事務研究集会開催。
平成 13 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 27 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（二）刊行。
4 月	「みどりの図書館づくり」事業発足
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 14 年 1 月	読み聞かせ研修会。
2 月	図書館地区別研修（九州・沖縄地区）。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 28 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（三）刊行。
10 月	図書館創立 100 周年記念事業を開催。
11 月	100 周年記念式典。
平成 15 年 2 月	九州各県及び政令指定都市立図書館奉仕部門担当者会議開催。
3 月	「100 年のあゆみ」刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（四）刊行。 宮崎県地方史研究紀要第 29 輯刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX」の稼働。 県内図書館横断検索システム導入（4 館）。
7 月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画。 パソコン 2 台でのインターネット閲覧サービス開始。
平成 16 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 30 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（五）刊行。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 16 年 4 月	組織改正、視聴覚係を読書推進係に変更。 持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7 席）。
6 月	「ビジネス情報コーナー」の開設。
10 月	九州各県及び政令指定都市立図書館総合・経営部門担当者会議開催。
平成 17 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要第 31 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（六）刊行。
4 月	祝日開館試行開始。
5 月	入館者 1,000 万人突破。
6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設。
10 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館利用講座開始。
12 月	6 代目移動図書館車「やまびこ」引継。
平成 18 年 1 月	ビジネス相談窓口の共同設置開始。
2 月	移動図書館車「やまびこ」養護学校訪問開始。
3 月	宮崎県地方史研究紀要第 32 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（七）刊行。
4 月	2 課 7 担当制に組織改正。
7 月	宮崎県環境情報センターオープン。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	図書館サービス計画ワークショップ開催。
平成 19 年 1 月	図書館フォーラム開催。
2 月	閲覧室内改装ロッカー室廃止、「環境情報センター」、「新聞・AV コーナー」移動。
3 月	ビジネス支援フォーラム開催。 身障者用駐車場屋根工事完成。 宮崎県地方史研究紀要第 33 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（八）刊行。
4 月	ホームページにみやざき本のページ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	「みやざき発 Live ! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催。
平成 20 年 2 月	図書館サイン見直し。 健康情報コーナー設置。 「学校図書館運営のてびき」発行。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 34 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（九）刊行。
4 月	2 課 6 担当制に組織改正。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 21 年 2 月	「子育て支援コーナー」の開設。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 21 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 35 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十）刊行。
4 月	新コンピュータシステム「iLiswing21/UX+」の稼働。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 22 年 3 月	「アメリカンシェルフ」オープン。 宮崎県文化講座研究紀要第 36 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十一）刊行。
4 月	県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結。
6 月	口蹄疫拡大防止のため、6 月 12 日から 7 月 26 日の間、休館。
8 月	第 34 回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察。
9 月	「親子の絆を深める子育て読書推進事業」移動図書館車「やまびこ」子育て支援センター訪問開始。
10 月	新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力 4 万冊増）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。 図書館地区別研修（九州・沖縄地区）開催。
平成 23 年 3 月	児童室内に授乳スペースの設置。 貸出点数を 1 人 5 点から 10 点（児童図書室の資料は 5 点まで）に変更。 宮崎県文化講座研究紀要第 37 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十二）刊行。 県立図書館ブログ開始。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 24 年 1 月	ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催。 古事記編さん 1300 年記念閲覧室内「古事記・日本書紀」コーナーを設置。
2 月	閲覧室 A V コーナー機器更新・液晶 DVD 対応機器導入。
3 月	話集・音声 CD「みやざきの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行。 宮崎県文化講座研究紀要第 38 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十三）刊行。
5 月	書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5 月 21 日から 6 月 8 日）。
7 月	子育て相談おはなし会開始。 福岡アメリカンセンターとの共催で伊藤頼子氏特別講演会及び英語の絵本読み聞かせ会開催。
9 月	空調用「冷温水器発生機」更新及び改修に伴い北玄関封鎖（9 月 26 日から 11 月 26 日）。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
12 月	宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10 年間 3, 000 冊）。「かば先生文庫」を創設、贈呈式。 図書館政策フォーラム「図書館はどう使えるか～明日の生きる力と図書館～」開催。
平成 25 年 2 月	児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備。

年 月	図 書 館 の 歩 み
平成 25 年 2 月	閲覧室内の新聞コーナー、データベース・パソコンコーナーの模様替え。オンラインデータベース用パソコン 2 台増設。マルチメディアデジ体験コーナー設置。 宮崎県環境情報センターを 1 階閲覧室から 1 階ロビーに移転。
3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 39 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十四）刊行。
平成 25 年 4 月	歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任。 子どもの読書週間期間中に「かば先生コーナー」の開設式を開催。
5 月	置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催。 伊藤名誉館長就任記念講演会を開催。
6 月～11 月	「次世代につなぐ『みやざきの言の葉』継承事業」（語り部養成講座、巡回パネル展〈以上日南市・西都市〉、子どものための講座〈西都市〉、講演会〈西都市〉）を実施。
9 月	本県出身のノンフィクション作家高山文彦氏を招き、県文化講演会「文学と故郷」を開催。
11 月	「みどりの図書館フェスタ」開催。
平成 26 年 3 月	宮崎県文化講座研究紀要第 40 輯刊行。 佐土原藩嶋津家江戸日記（十五）刊行。

(2) 歴代館長名

歴代	就任年月	転退年月	氏 名	備 考	歴代	就任年月	転退年月	氏 名	備 考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢 田 重 遠	学務課長 兼 掌	26	昭和 46. 8	昭和 47. 3	竹 内 敬 郎	教 育 次 長 兼 掌
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	県 視 学 兼 掌	27	" 47. 4	" 48. 3	杉 田 利 治	専 任
3	" 38. 6	" 40. 2	小 山 季 郎	"	28	" 48. 4	" 51. 3	藺 田 穂	"
4	" 40. 2	" 42.12	石 神 徳 蔵	"	29	" 51.4	" 53. 3	日 高 千 文	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市 川 覃	学務課長 兼 掌	30	" 53. 4	" 57. 3	三 宅 孝 明	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿 夫	"	31	" 57. 4	" 59. 3	比江島重俊	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜 部 正 一	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大 坪 學	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専 任	33	平成 2. 4	" 4. 3	新 貝 晴 男	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新 原 俊 秀	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久 徳 菊 雄	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天谷 虎之助	学務課長 兼 掌	35	" 5. 4	" 6. 3	村 岡 啓 吾	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡 本 保 三	"	36	" 6. 4	" 8. 3	佐 野 芳 弘	"
12	" 12.12	" 14. 4	小 山 三 郎	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒 木 康 博	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多 胡 全	社会教育 主事兼掌	38	" 9. 4	" 11. 3	安 田 天 祥	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古 城 林	学務課長 兼 掌	39	" 11. 4	" 13. 3	四 元 邦 和	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿 賀 正 美	"	40	" 13. 4	" 14. 3	島 内 清 成	"
16	" 5.12	" 6.12	手 島 伝	"	41	" 14. 4	" 15. 3	早 川 烈	"
17	" 6.12	" 7. 1	中 島 知 道	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩 崎 武	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若 山 甲 蔵	専 任	43	" 15. 8	" 19. 3	伊 藤 惇 一	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐 山 修	専任嘱託	44	" 19. 4	" 21. 3	宮 永 博 美	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山 本 栄 喜	社会教育 課長兼掌	45	" 21. 4	" 22. 3	一 原 則 幸	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大 山 俊 建	"	46	" 22. 4	" 23. 3	矢 野 好 孝	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日 高 重 孝	専 任	47	" 23. 4	" 24. 3	高 島 俊 一	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中 村 地 平	専 任	48	" 24. 4	" 25. 3	甲 斐 睦 教	"
24	" 32.10	" 46.3	日 高 一	専 任	49	" 25. 4	" 26. 3	坂 本 義 広	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂 積 正 晴	教 育 次 長 兼 掌	50	" 26. 4		内 栞 保 博 秋	"

2 県立図書館条例・規則

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)
(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 宮崎県教育委員会規則第 3号)
(最終改正 平成23年7月 宮崎県教育委員会規則第 4号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第6条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

(1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。

(2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。

(3) 予算の執行及び決算に関すること。

- (4) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
 - (5) 公印の管守に関すること。
 - (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
 - (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
 - (8) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
 - (9) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
 - (10) 視聴覚ライブラリーに関すること。
 - (11) 県立図書館協議会に関すること。
 - (12) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。
- (情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (2) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (3) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (4) 図書館資料の利用に関すること。
- (5) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (6) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

第2節 職 制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
館 長	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 館 長	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主任 社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専 門 主 事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
専 門 技 師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
主 任 主 事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 任 技 師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技 師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
主 幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専 門 主 幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
副 主 幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、図書館に、技術員を置く。

2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通 則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

(1) 閲覧室及び対面朗読室

午前9時から午後7時まで（日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という）にあつては、午前9時から午後5時まで）

(2) 児童図書室、特別展示室、視聴覚ライブラリー、研修ホール、研修室及び視聴覚室

午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（月曜日が休日にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで

(3) 特別整理期間（あらかじめ、館長が定めて公示する期間）

2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。

(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。

4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写（単色のもの）	複写一面につき	1 0 円
電子複写（カラーのもの）	複写一面につき	5 0 円
マイクロフィルム複写	一枚につき	5 0 円

（図書館資料の複写の制限）

第 1 7 条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- （1）寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
 - （2）技術的に複写が困難な図書館資料
 - （3）複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
 - （4）前 3 号に掲げるもののほか、館長が複写することを不相当と認めた図書館資料
- （複写物の利用上の責任）

第 1 8 条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。

（参考調査相談）

第 1 9 条 図書館資料に係る参考調査相談（以下「参考調査相談」という。）をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。

（回答を行わない事項）

第 2 0 条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不相当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第 3 節 図書館資料等の館外利用

（図書館資料の館外利用）

第 2 1 条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券（以下「貸出利用券」という。）の交付を受けなければならない。

第 2 2 条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者 1 人につき、未返却図書館資料の数を含め 1 0 点以内（うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め 5 点以内）とする。

3 図書館資料の館外利用の期間は、2 週間以内とする。

（団体文庫及び巡回文庫）

第 2 3 条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。

（視聴覚機器の館外利用）

第 2 4 条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体（以下「社会教育等団体」という。）とする。

2 第 2 1 条及び第 2 2 条第 1 項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

（図書館資料の館外利用の制限）

第 2 5 条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- （1）貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
 - （2）参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
 - （3）寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
 - （4）前 3 号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不相当と認めた図書館資料
- （図書館資料等の館外利用の停止等）

第 2 6 条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器（以下「図書館資料等」という。）の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- （1）偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。

(2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。

(3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

(1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者

(2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者

(3) 前二号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者

2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。

3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。

(1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。

(2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。

(5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。

(6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。

(7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じて、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。

3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第4章 雑 則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(県立図書館規則等の廃止)

2 次に掲げる規則は、廃止する。

1) 県立図書館規則(昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号)

2) 県立図書館附設設備利用規則(昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号)

附 則(平成4年8月25日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則(平成7年3月31日教育委員会規則第10号)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則(平成8年3月29日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成9年5月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成9年6月1日から施行する。

附 則(平成13年3月30日教育委員会規則第9号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成16年3月29日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月30日教育委員会規則第12号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育委員会規則第3号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日教育委員会規則第6号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成23年2月21日教育委員会規則第1号)

この規則は、平成23年3月1日から施行する。

附 則(平成23年7月21日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成23年8月1日から施行する。

(3) 県立図書館協議会運営規則

(昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号)

第1条 県立図書館協議会(以下「協議会」という。)に議長及び副議長各1人を置く。

2 議長及び副議長は、協議会委員(以下「委員」という。)の互選とし、その任期は委員の任期による。

3 議長は、委員の会議を主宰する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。

第2条 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び難題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。

2 協議会招集の通知後に、緊急の難題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。

第3条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

(1) 構造

地上2階（書庫：地上4層）

圖書收藏能力 84萬冊

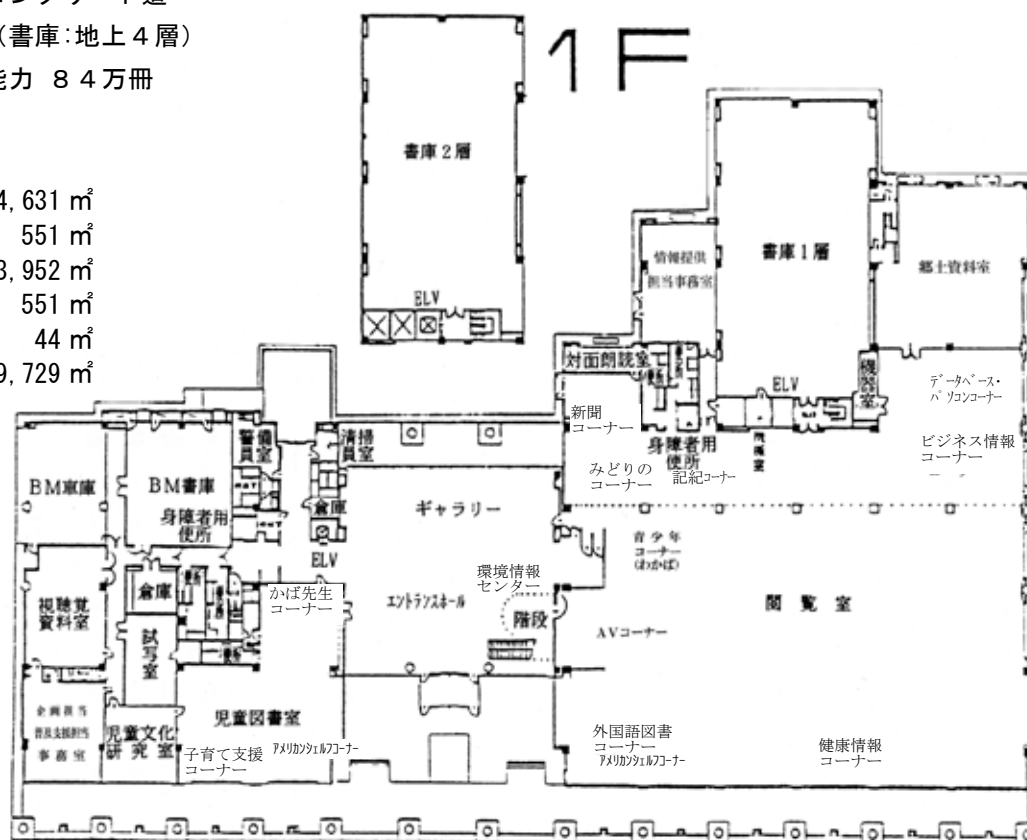
(2) 床面積

1 階 4,631 m²
 551 m²

2 階 3,952 m²
551 m²

屋 階 44 m²

合計 9,729 m²



(3) 座席数

一般閱覽室 225 席

郷土資料室 36 席

兒童圖書室 22 席

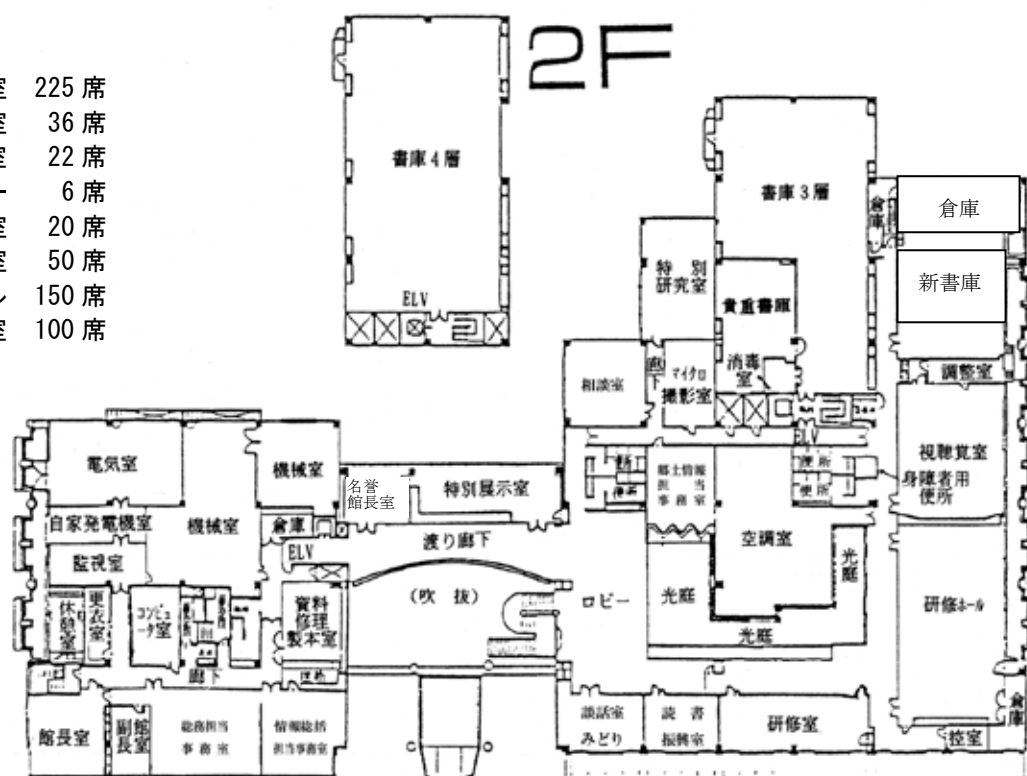
AVコーナー 6席

讀書振興室 20 席

研 修 室 50 席

研修ホ一ル 150 席

視聽覺室 100 席



4 利 用 案 内

(1) 開 館・休 館

① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時（日曜日・祝日は午前9時～午後5時）

児童図書室 午前9時～午後5時

② 休 館 日

月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

年末年始（12月29日～1月5日）

特別整理期間（平成27年2月16日～平成27年2月23日）

(2) 貸 出

一人10冊まで 14日以内

ただし、児童図書室の本は5冊まで

(3) 電話案内

0985-29-2911	全般的な問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・	総務・企画課総務担当
0985-29-2956	図書館事業の企画・広報・・・・・・・・	総務・企画課企画担当
0985-29-2956	巡回文庫、団体文庫、視聴覚事業、子ども読書・・・・	総務・企画課普及支援担当
0985-29-2970	資料の寄贈・・・・・・・・	情報提供課情報総括担当
0985-29-2596	図書の貸出・返却・・・・・・・・	情報提供課情報提供担当
0985-29-2972	資料の問合せ・・・・・・・・	情報提供課情報提供担当
0985-29-2954	郷土情報の問合せ・・・・・・・・	情報提供課郷土情報担当

(4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当）

0985-29-2961（企画・普及支援担当）

0985-22-9070（情報提供担当）

(5) インターネットホームページアドレス（当館の図書、行事案内情報等の検索ができます）

<http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

5 市 町 村 立 図 書 館 一 覧

館 名	館 長 名	所 在 地	創設年月
宮 崎 市 立 図 書 館	新頭 宏光	〒880-0930 TEL 0985-52-7100 FAX 0985-52-7158 宮崎市花山手東3丁目25番地3	平6.5
宮 崎 市 立 佐 土 原 図 書 館	図師 保光	〒880-0211 TEL 0985-30-1037 FAX 0985-72-2066 宮崎市佐土原町下田島20527番地4	平16.4
都 城 市 立 図 書 館	新甫 隆	〒885-0073 TEL 0986-22-0239 FAX 0986-22-0251 都城市姫城町7街区22号	昭23.4
都城市立高城図書館(分館)	新甫 隆	〒885-1202 TEL 0986-58-4224 FAX 0986-58-4245 都城市高城町徳満坊105番地	平21.4
延 岡 市 立 図 書 館	松元 剛	〒882-0812 TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644 延岡市本小路39番地1	大7.7
延岡市立図書館北方分館	甲斐 日出男 (兼)北方教育課長	〒882-0125 TEL 0982-28-5200 FAX 0982-28-5201 延岡市北方町川水流卯1236番地2	平13.4
延岡市立図書館北浦分館	福島 定治 (兼)北浦教育課長	〒889-0301 TEL 0982-45-2466 FAX 0982-45-2466 延岡市北浦町古江1943番地1	平24.3
延岡市立図書館北川分館	北林 俊一 (兼)北川教育課長	〒889-0192 TEL 0982-46-2047 FAX 0982-46-2065 延岡市北川町川内名7250番地	平25.4
日 南 市 立 図 書 館	早田 秀穂 (兼)生涯学習スポーツ課長	〒889-2535 TEL 0987-25-0158 FAX 0987-25-1200 日南市鉄肥2丁目6番18号	昭25.1
日南市立まなびピア図書館	早田 秀穂 同上	〒887-0013 TEL 0987-22-5666 FAX なし 日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内	平14.3
日南市立北郷図書館	早田 秀穂 同上	〒889-2402 TEL 0987-55-2469 FAX 0987-55-2469 日南市北郷町郷之原乙1570番地	平元.8
日南市立南郷図書館	早田 秀穂 同上	〒889-3204 TEL 0987-64-0924 FAX 0987-64-0930 日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内	平7.12
小 林 市 立 図 書 館	山下 町子	〒886-0004 TEL 0984-22-7913 FAX 0984-22-7913 小林市細野367番地1	明41.6
小林市立図書館野尻分館	山下 町子	〒886-0212 TEL 0984-44-1100 FAX なし 小林市野尻町東麓1183番地2	平22.3
小林市立図書館須木分館	山下 町子	〒886-0111 TEL 0984-48-2954 FAX 0984-48-2120 小林市須木中原1741番地1	平22.3
日 向 市 立 図 書 館	緒方 博文	〒883-0035 TEL 0982-54-1919 FAX 0982-54-5444 日向市春原町1丁目47番地	昭24.4
串 間 市 立 図 書 館	富高 賢	〒888-0001 TEL 0987-72-1177 FAX 0987-72-0803 串間市大字西方6524番地58	昭51.4
西 都 市 立 図 書 館	大河内 敏雄 (兼)社会教育課長	〒881-0003 TEL 0983-43-0584 FAX 0983-41-1113 西都市大字右松2606-1	昭49.12
え び の 市 民 図 書 館	荒谷 貴宏	〒889-4311 TEL 0984-35-0242 FAX 0984-35-3040 えびの市大字大明司2146番地2	昭50.7
三 股 町 立 図 書 館	宮内 浩二郎 (兼)教育長	〒889-1901 TEL 0986-51-3200 FAX 0986-51-3751 北諸県郡三股町大字樺山3406番地8	平13.4
国 富 町 立 図 書 館	瀬尾 孝徳 (兼)社会教育課長	〒880-1101 TEL 0985-75-9577 FAX 0985-75-9558 東諸県郡国富町大字本庄4768番地2	平17.4
綾 て る は 図 書 館	中村 清久	〒880-1302 TEL 0985-77-0180 FAX 0985-77-0585 東諸県郡綾町大字北俣462番地2	平16.7
町 立 高 鍋 図 書 館	稲井 義人 (兼)社会教育課長	〒884-0003 TEL 0983-21-1152 FAX 0983-21-1153 児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地	昭30.3
川 南 町 立 図 書 館	巻 庄次郎	〒889-1302 TEL 0983-27-7111 FAX 0983-27-7100 児湯郡川南町大字平田2386番地3	平11.4
都 農 町 民 図 書 館	小泉 隆宏 (兼)社会教育課長	〒889-1201 TEL 0983-25-3316 FAX 0983-25-2683 児湯郡都農町大字川北5448番地2	昭50.12
門 川 町 立 図 書 館	藤崎 富男	〒889-0611 TEL 0982-68-0001 FAX 0982-68-0024 東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1	平14.3
美 郷 町 立 西 郷 図 書 館	長尾 勇 (兼)教育長	〒883-1101 TEL 0982-66-2636 FAX 0982-66-2636 東臼杵郡美郷町西郷田代645番地1	平11.4
美 郷 町 立 北 郷 図 書 館	長尾 勇 同上	〒889-0901 TEL 0982-62-6205 FAX 0982-62-6193 東臼杵郡美郷町北郷字納間401番地	平15.5
美 郷 町 立 南 郷 図 書 館	長尾 勇 同上	〒883-0306 TEL 0982-59-1605 FAX 0982-59-0129 東臼杵郡美郷町南郷神門287番地	平24.4
高 千 穂 町 立 図 書 館	黒木 康雄 (兼)教育長	〒882-1101 TEL 0982-72-7219 FAX 0982-72-5515 西臼杵郡高千穂町大字三田井723-1	昭49.7